令和2年度

計画進行管理集計表(R2年度)

■各施策事業の実績

評価方法:事業の主管課による3段階の評価ランク付け

評価ランク

A=目標達成・目標に向け順調

B=目標に向け遅延

C=未実施・廃止の方向

事業番号1~95

	基本目標	事業数		評価	ランク	
	基本日 標	争未奴	Α	В	C	設定なし
基本目標1	子育て家庭の支援	35	24	6	2	3
基本目標2	母子の健康の確保と増進	13	13	0	0	0
基本目標3	教育環境の整備	9	3	6	0	0
基本目標4	子育てを支援する生活環境の整備	20	14	2	1	3
基本目標5	要支援家庭への取り組み	18	14	1	0	3
	計	95	68	15	3	9

[※]全95事業中、再掲は、11事業

■基本目標別事業の実績

基本目標1 子育て家庭の支援

事業番号1~35

施策名	事業数	評価ランク				
	尹未奴	Α	В	C	設定なし	
① 地域での子育て家庭の支援	24	17	5	2	0	
② 仕事と子育ての両立	2	2	0	0	0	
③ 子育て家庭への経済的支援の充実	9	6	0	0	3	
dž	35	25	5	2	3	

A評価で方向性が拡大なもの

24「公民館講座開催事業」…講座内容の検討や他課との連携

30「小児医療費助成事業」…所得制限の廃止

B評価の理由

- 1「児童クラブ運営事業」…入所児童数の未達成
- 5「一時保育事業(幼稚園型を除く)」…利用者数の減少
- 6「子育て支援センター事業」…利用人数の減少
- 8「民生委員児童委員活動事業」…「子育てひろば」の開催回数の減少
- 13「子育て支援プログラム実施事業」…実施回数・受講者数の減少
- 19「寒川総合体育館運営管理事業」…体育館利用者数の減少

C 評価の理由

- 18「平和推進事業」…事業未実施
- 20「青少年育成事業」…事業未実施

設定なし

- 31「小児慢性特定疾病医療費助成」…神奈川県所管
- 34「生活保護制度」…神奈川県所管
- 35「生活困窮者自立相談支援事業」…神奈川県所管

基本目標2 母子の健康の確保と増進

事業番号36~48

施策名	事業数	評価ランク				
	争未致	Α	В	С	設定なし	
① 母と子の健康づくり	11	11	0	0	0	
② 保健医療の充実	2	2	0	0	0	
計	13	13	0	0	0	

基本目標3 教育環境の整備

事業番号49~57

施策名	事業数	評価ランク				
加·宋·台	争未致	4	В	O	設定なし	
① 学校教育の充実	4	2	2	0	0	
② 幼児教育の充実	2	0	2	0	0	
③ 家庭や地域の教育力の向上	3	1	2	0	0	
計	9	3	6	0	0	

※9事業中、再掲2事業

A評価で方向性が拡大のもの

55「公民館講座開催事業」 (再掲)…講座内容の検討や他課との連携

B評価の理由

- 50「教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校)」… I C T 機器等の利活用率の未達成
- 52「教職員の資質向上事業」…研修会等参加人数の減少
- 53「子ども読書ふれあい事業」…実施回数・参加人数の減少
- 54「子育て支援センター事業」(再掲)…利用人数の減少
- 56「青少年指導員活動事業」…研修等参加人数の減少
- 57「さむかわゆうゆう学園事業」…修了証交付者数の減少

基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備

事業番号58~77

施策名	中光料	評価ランク				
爬 束 右	事業数	Α	В	С	設定なし	
① バリアフリーのまちづくり	3	2	0	0	1	
② 安全・安心まちづくり	11	9	0	0	2	
③ 子どもの遊び場の確保	6	3	2	1	0	
計	20	14	2	1	3	

※20事業中、再掲3事業

A評価で方向性が拡大のもの

73「新・放課後子ども総合プラン推進事業」…ふれあい塾の開催日数増を検討

B評価の理由

74「子育て支援センター事業」(再掲)…利用人数の減少

76「児童遊び場の整備」…遊具の老朽化への対応を検討

C評価の理由

72「ふれあい塾運営事業」…事業未実施

設定なし

- 58「公共施設のバリアフリー化の情報提供」…法改正等の情報提供
- 65「子どもを守るための活動の推進」…ハートの家事業 PTA連絡協議会主催
- 68「薬物乱用防止啓発事業」…青少年環境浄化推進協議会主催事業

基本目標5 要支援家庭への取り組み

事業番号78~95

施策名	事業数	評価ランク				
加 宋 台	尹未奴	A	В	O	設定なし	
① 児童虐待の防止	4	3	1	0	0	
② ひとり親家庭への支援	5	4	0	0	1	
③ 障害児施策の充実	9	7	0	0	2	
計	18	14	1	0	3	

※18事業中、再掲6事業

A評価で方向性が拡大のもの

93「特別支援教育推進事業(小学校・中学校)」…支援員等の増員に向けて検討

B評価の理由

79「子育て支援センター事業」(再掲)…利用人数の減少

設定なし

- 82「児童扶養手当」…神奈川県所管
- 88「障害児福祉手当」…神奈川県所管
- 89「特別児童扶養手当」…神奈川県所管

1. 基本目	 標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	学び推進課		
2 施策σ								
3. 事業名	ı	1 児童クラブ運営事業						
4. 事業内]容	保護者が労働等により放課後昼間家庭にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活 の場を与え、児童の健全な育成を推進する。						
5. 事業番	号(再掲含む)	1						
6. 現状と	課題	児童クラブへの入所希望者は、増加の傾向にあり、良好な環境づくりを維持していくためにも、計画的な施設整備が必要となる。また、利用者ニーズに応じた開所時間の延長について検討していく必要がある。						
7. 年次計	画(指標、計画値、実績値、	評価、今後の方向]性)					
	指標	入所児童数						
	指標の名称(単位)			数值				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	入所児童数(人)	230	270	301	309	315		
実績値	入所児童数(人)	226						
	達 成 率(%)	98.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	1:拡大						
	定員数の見直し、公共施設及び民間資源の各活用により、計画値を確保する あったが、実施できなかったため。					確保する予定で		
8. 備	考	令和2年度担当記	果等∶保育∙青少年	丰課				
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	<u></u> づくり			
9. 総合計	- 画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進				
		施策(項)	1 子育て支援の)充実				

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の	基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援				
3. 事業名		2 保育所運営事	 業業(通常保育事業	 業)			
4. 事業内容 保護者の就労等により、保育が必要な児童の保育を実施する。							
5. 事業番	号(再掲含む)	2					
年度当初より定員を超えた児童の受け入れができている。 6. 現状と課題 の歳から2歳については毎年入園希望者が多く、4歳から5歳については、全望者が大きく増減する。					ては、年により希		
7. 年次計	一画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	確保提供量(定員 定員に対する児					
	指標の名称(単位)			数值	<u> </u>		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	確保提供量(人)	704	704	704	704	704	
	定員に対する児童入園率(%)	120	120	120	120	120	
実績値	確保提供量(人)	704					
	定員に対する児童入園率(%)	108	0.0	0.0	0.0	0.0	
這	隆 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	90.0 A	0.0	0.0	0.0	0.0	
今後の方 1:拡大 2:維持	向性	2:維持					
	評価の理由	特機児童がいるなかで、定員に対する児童入園率は計画値120%に満たないが保育所等では面積要件、保育士配置基準を満たす範囲内でより多くの児童を受け入れている。					
8. 備	考	令和2年度担当課等:保育·青少年課					
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	づくり		
9. 総合計	画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の)充実			

					I= 1. == 1.				
1. 基本目	標 	1 子育て家庭の)支援 		担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の	基本的方向	1 地域での子育	1 地域での子育て家庭の支援						
3. 事業名	i	3 延長保育事業							
4. 事業内	3容	保護者の就労形態の多様化に対応し、保育時間を超えて保育することについて支援る。							
5. 事業番	5号(再掲含む)	3							
6. 現状と	課題	町内の4保育園では、延長保育時間を含む12時間の保育を実施している。							
7. 牛火司	四 (拍 保 、 計	1但、計1曲、71をの	カ門注)						
	指標	実施箇所(園)数 確保提供量(実)	(数)						
	指標の名称(単位)			数值					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
計画値	実施箇所(園)数(箇所)	4	4	4	4	4			
	確保提供量(人)	350	350	340	340	330			
実績値	実施箇所(園)数(箇所)	4							
	確保提供量(人)	328							
這	産成率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	93.7 A							
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	向性 4:縮小 5:終了	2:維持							
	評価の理由	町内認可保育所においては全て実施している。事業を実施している施設に対して補助金を交付することで事業の維持・継続が図られている。							
8. 備	考	令和2年度担当課等:保育·青少年課							
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	原動力となるひとつ	づくり 				
9. 総合計	画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進					
		施策(項)	1 子育て支援の)充実					

1. 基本目	標	1 子育て家庭の支援 担当課等名 子育て支援認							
2. 施策の	 D基本的方向	1 地域での子育	 て家庭の支援						
3. 事業名	2	4 一時預かり事	 業(幼稚園型)						
4. 事業内	7容	町内幼稚園で幼児教育時間の前後、長期休暇中に、預かり保育を実施します。							
5. 事業番	番号(再掲含む)	4							
6. 現状と	:課題	園によって預かり保育の実施日、時間などの状況は異なる。							
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)						
	指標	確保提供量(延~	べん数)						
	指標の名称(単位)			数值	1				
	担保の句(か(千世)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
計画値	確保提供量(人)	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600			
実績値	確保提供量(人)	12,354							
ì	主 成 率(%)	98.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А							
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持							
	評価の理由	は新型コロナウィ	イルス感染症の影	た令和元年度は を響で預けることを る方へは提供で	控える傾向にあり	たが、令和2年度 り、令和元年度より 価とした。			
8. 備	考	令和2年度担当記	令和2年度担当課等∶保育·青少年課						
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ					
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進					
		施策(項)	1 子育て支援の)充実					

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の	D基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援						
3. 事業名	3	5 一時保育事業	5 一時保育事業(幼稚園型を除く)						
4. 事業内	7容	日頃、保育所を利用していなくても、一時的に子どもを預かる事業を行う。							
5. 事業都	番号(再掲含む)	5							
6. 現状と	-課題	平成28年度末に新たに3園が一時保育を開始し、町内認可保育所4園全でで実施 ている。							
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)						
	指 標	確保提供量(延/	(人数)						
	指標の名称(単位)			数值	Ī				
	担保の石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
計画値	確保提供量(人)	700	700	700	700	700			
実績値	確保提供量(人)	152							
大帜胆									
ì	達成率(%)	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	В							
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	向性 4:縮小 5:終了	2:維持							
	評価の理由								
8. 備	考	令和2年度担当課等∶保育·青少年課							
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	づくり				
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進					
		施策(項)	1 子育て支援の)充実					

						1	
1. 基本目	標 ————————————————————————————————————	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の	基本的方向	1 地域での子育	て家庭の支援				
3. 事業名	i	6 子育て支援セ	ンター事業				
4. 事業内	9容			育てサークルの育 的なイベントを開作		事業を行う。また、	
5. 事業番	号(再掲含む)	6	54	74	79		
6. 現状と	課題	用者が大きく減り	ンしていることろだ		家庭に対する相	している影響で利 談、見守りを着実	
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	延べ利用人数					
	比無のなた(学儿)			数值	1		
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	延べ利用人数(人)	9,430	9,490	9,540	9,610	9,670	
実績値	延べ利用人数(人)	2,722					
i	達 成 率(%)	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善		2:維持					
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、年度当初の施設閉所やその後の利用者数を制限しての開所に伴い、開所日数及び利用者数が減少したが、育児不安を抱える保護者に対し手紙や電話により状況の把握に努めた。 事業の目的は子育て家庭が自由に利用できるフリースペースと支援が必要な家庭に対する相談・見守りとしているため、今後も同様の事業内容で実施していくものの、コロナの収束が見通せないことから、当面は、利用者数の制限を継続する。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	づくり		
9. 総合計画2040での位置付け		政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の)充実			
		l					

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の)基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援					
3. 事業名	í	7 ファミリー・サ	ポート・センター事	· 業				
4. 事業内	7容		立等のため、相互 利用料金に対して 可負担を設ける。					
5. 事業番	等号(再掲含む)	7	85					
6. 現状と	課題	まかせて会員の数がおねがい会員の数と比較して少ないことと、宿泊や急な病気依頼に応じることが難しい内容への対応が課題となっている。また、お子さんの成長に伴いおねがい会員からまかせて会員に登録していただけう促すことや、事業内容の周知に引き続き取り組むことが必要である。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	延べ利用件数	近べ利用件数					
	指標の名称(単位) 数 値							
	田保の石が(辛四)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	延べ利用件数(件)	1,740	1,720	1,690	1,680	1,660		
実績値	延べ利用件数(件)	2,543						
ì	達成率(%)	146.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	Α						
	· - ·—	2:維持						
	評価の理由	延べ利用件数は前年度比約111%で増となり、目標を達成した。増加の理由は、保育園の送り・迎え、登校前の援助が必要な会員の利用が増えたことによるもの。まかせて会員の数が少ないため、事業の周知を工夫するなど会員の増に努め、事業内容は現状どおり継続していくこととする。						
8. 備	考							
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひとつ	 づくり			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進				
		施策(項)	1 子育て支援の)充実				

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	福祉課	
2. 施策の)基本的方向	1 地域での子育	て家庭の支援				
3. 事業名	í	8 民生委員児童					
4. 事業内	9容		開催し、地域の子 相談に応じ、必要			地域の相談役と	
5. 事業番	番号(再掲含む)	8					
6. 現状と	·課題	子育て支援課が担当している「巡回ひろば」と類似している。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	子育てひろばの肌	ばの開催回数				
	指標の名称(単位)			数值			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	子育てひろばの開催回数(回)	44	44	44	44	44	
	子育てひろばの開催回数(回)	7					
実績値							
2	 成 率(%)	15.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
	王 八八 (1 1)						
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善		2:維持					
	評価の理由	新型コロナウイル	ノス感染症の拡大	ーー 防止のため、大き	☆ おうが中止となった	たため。	
8. 備	考						
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)					

1. 基本目	標	1 子育て家庭の			担当課等名	財産管理課 福祉課		
2. 施策の)基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援					
3. 事業名		9 (仮称)健康福祉総合センター検討・建設事業						
4. 事業内	9容	公共施設等総合管理計画に基づき、保健福祉施設機能に加え、町民センターホール や役場の機能を含む新たな複合施設整備に向けた検討を公共施設再編計画策定と併 せて進める。						
5. 事業番	番号(再掲含む)	9						
6. 現状と	-課題	公共施設再編計画策定の中で、公共施設の町の方針、方向性と併せて検討を進めていく。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	施設建設に係る取り組み						
	指標の名称(単位)			数值				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	取り組み	0	0	0	0	0		
	取り組み	0						
実績値	以り組み	0						
	<u> </u>							
j	達 成 率(%)							
評価								
Α	:目標達成・目標に向けて順調	Α						
В	:目標に向けて遅延							
C 今後の方	:未実施・廃止の方向							
1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小	2:維持						
	評価の理由	令和3年3月に「寒川町公共施設再編計画」を策定。 同計画内において、おおよそ40年後のイメージとしては、(仮称)健康福祉総合センター建設予定地へ、新たな複合施設(集約する機能:健康管理センター機能、子育てサポートセンター機能、役場庁舎機能、町民センター機能)を示した。しかし、財政面から建替え前提の対策は多額な費用を要し困難であることから、2021年から2036年までの間に、①健康管理センターの老朽化、②平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所の茅ヶ崎市保健所からの撤退期日、③子育てサポートセンターの賃貸借契約期日の到来といった当面の課題への対策として、(仮称)健康福祉総合センター建設予定地へ保健福祉施設を集約し、リース方式による整備方針を示した。						
8. 備	考	維持するため、全	後は集約する保令和3年度以降に	:健福祉施設の整		する事業・機能をついて、関係各課		
		基本目標(章)			_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)						

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	福祉課		
2. 施策の	D基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援					
3. 事業名	<u> </u>	10 日中一時支	援事業					
4. 事業内	内容	日中、福祉施設において、障がい児を一時的に預かることで、家族の一時的な休息の提供や就労機会を支援する。						
5. 事業番	番号(再掲含む)	10						
6. 現状と	-課題	町内に社会資源が少ない現状であったが、提供できる事業所も増え、加えて、町外事 業所を利用できるように近隣市町と引き続き連携していく。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	事業所数						
	指標の名称(単位)							
	担保の石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	事業所数(箇所)	2	2	2	2	2		
実績値	事業所数(箇所)	3						
ì	<u> </u> 達 成 率(%)	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小	2:維持						
	評価の理由	令和2年6月に新しい事業所が開所したことにより、計画値を上回る実績となったため						
8. 備	考							
		基本目標(章)			_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)						

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の	基本的方向	1 地域での子育						
3. 事業名	1	11 養育支援訪	問事業					
4. 事業内]容	乳児家庭全戸訪問や関係機関からの情報収集により把握した、養育支援の必 あると判断した家庭に対し、訪問支援を実施する。						
5. 事業番	号(再掲含む)	11	80					
6. 現状と	課題	は、年々増加して		れるため、訪問員	員の人材確保等が	るが、訪問家庭数 課題となってく		
7. 年次計	画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
指 標 訪問家庭数(実数)、延べ訪問回数								
	比無のなむ(光仏)		数 值					
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
社面店	家庭数(人)	13	14	15	16	17		
計画値	回数(回)	15	16	17	18	19		
実績値	家庭数(人)	11						
天視胆	回数(回)	20						
译	を 成 率(%)	84.6	0.0	0.0	0.0	0.0		
	E 1% → (10)	133.3						
, ,	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
		2:維持						
	評価の理由	対象家庭については、町サポートネットワーク会議に諮り決定しており、近年増加傾向にあることから、計画値も増やす方向で設定しているものの、実績が増えればよいという事業ではない。対象家庭を含めて支援が必要な家庭に対しては、本事業や他の訪問等により支援ができている。						
8. 備	考							
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	原動力となるひとつ	 づくり			
9. 総合計	画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進				
		施策(項)	1 子育て支援の)充実				

1. 基本目]標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策0	の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援						
3. 事業名	 3	12 地域子育で環境づくり支援事業						
4. 事業内	内容		子育て支援に関する事業を実施する団体で、地域の実情に応じた創意工夫ある取り組 み等に対する事業費の補助を行う。					
5. 事業都	番号(再掲含む)	12						
6. 現状と	∸課題	町内の子育て支援事業を行う可能性のある任意団体や自治会等を想定しているが、 補助制度の認知度が低い。団体の把握に努め効果的な周知を図る必要がある。						
7. 年次記	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	補助団体数						
	指標の名称(単位)			数值	1			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	団体数(団体)	2	2	2	2	2		
実績値	団体数(団体)	2						
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ì	達 成 率(%)	, , , , ,	0.0			5.5		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小	2:維持						
	評価の理由	ワーク事業」、小	谷こどもカフェ運き	家庭への支援を 営委員会の子ども 団体2事業へ補助	達に寄り添う温か	交サポートネット いい居場所づくりを		
8. 備	考							
		基本目標(章)		-	_			
9. 総合言	十画2040での位置付け	政策(節)		-	_			
		施策(項)			_			

1. 基本目	標	1 子育て家庭の支援 担当課等名 子育て支援					
			 て家庭の支援		• =		
3. 事業名	1	13 子育て支援プロクラム実施事業					
4. 事業内]容	子育て支援に悩みを抱えた家庭に対する、子育て支援プログラムを実施する。					
5. 事業番	詩号(再掲含む)	13					
6. 現状と	課題	平成26年度に県職員をファシリテーターとして試行的に事業を開催したところ、受講者から高評価を頂き、町職員をファシリテーターとして養成し、継続的に事業を実施していくこととした。1回あたり16名程度が受講することができる内容だが、託児人数も限られることから1回の定員12名として年2回開催することとしている。					
7. 年次計	一画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	子育て支援プログラム実施回数 子育て支援プログラム受講者数(定員)						
	指標の名称(単位)		数值				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	実施回数(回)	2	2	2	2	2	
	受講者数(人) 回数	24 1	24	24	24	24	
実績値		9					
	文語有效	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
這	崔 成 率(%)	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В	0.0	0.0	0.0	0.0	
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小	2:維持					
	評価の理由	令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、1コースの開催を見合わせ、開催した1コースも参加人数を9名に減らしたため、達成率が低くなった。参加者からは、「精神的に支えられる」「町で子育てを応援してくれるプログラム」「地域の中で友人ができてよかった」との意見があり、満足度が高い事業である。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	 1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	 づくり		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の)充実			

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の)基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援				
3. 事業名	1	14 子育て支援	相談事業				
4. 事業内	7容	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行う。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	14	70	81	90		
6. 現状と	課題	バイザーによる村	設置している子育 目談業務を実施し 目との連携や協力	ている。相談内容	は、年々複雑・多	一での子育てアド 様化の傾向にあ	
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の)方向性)				
	指標	相談主訴への対応率					
	指標の名称(単位)	数值					
	指標の右が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
実績値	%	100					
i	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
	· - ·—	2∶維持					
	評価の理由	よる相談件数は	にわたり長期化σ			て支援相談員になできていることか	
8. 備	考	<延べ相談件数 H3支援センター 81役場窓口 53	30 R1 R2				
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	原動力となるひとつ	づくり		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の)充実			

	-				In		
1. 基本目	標 	1 子育て家庭の)支援 ————————————————————————————————————		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の)基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援				
3. 事業名	1	15 利用者支援	事業(基本型)				
4. 事業内	7容	幼稚園、保育所等の施設や地域の子育て情報を集約し、利用相談や情報提供を行う。					
5. 事業番	号 (再掲含む)	15					
6. 現状と	課題	利用者支援事業の推進については、民間の幼稚園、保育施設の情報集約が必要であり、施設関係者との定期的な連絡会の開催や施設訪問など施設関係者の協力が必要 となる。					
7. 年次計	7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
	指標	相談主訴への対応率					
	指標の名称(単位)			数值			
	1日保の石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
実績値	%	100					
入順區							
這	達成率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A A					
	· - ·	2:維持					
	評価の理由		ンターの子育てコ	设や地域の子育て コーディネーターに		滑に利用できるよ 〒うなど相談者の	
8. 備	考	<相談・情報提供 H30 R1 R 477 422 5				_	
基本目標(章) 1 まちづくりの原動力となるひとづくり							
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育7	ち・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の)充実			

1. 基本目標	1 子育て家庭の	支援		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育					
3. 事業名	16 育児相談事業					
4. 事業内容	乳幼児の成長発	達を確認し、保護	者の育児不安の	解消を図る。		
5. 事業番号(再掲含む)	16					
6. 現状と課題	各種健診や相談事業の対象月齢外の相談に対応するため、育児相談を実施している。また、定例以外の来所相談や電話相談にも対応している。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
指標	相談主訴への対	相談主訴への対応率				
指標の名称(単位)			数值	直		
指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値 %	100	100	100	100	100	
実績値	100					
達 成 率(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
評価 A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向	А					
今後の方向性 1:拡大 4:縮小 2:維持 5:終了 3:改善 6:廃止	2:維持					
評価の理由		や離乳食、母親 <i>の</i>	関わり方などの		接相談を実施。子 者の不安の軽減を	
8. 備 考	< 延べ相談者数 > H30 R1 R2 子育て広場 706 509 159 育児相談 105 83 43 子どもの心 50 49 77 子どもの歯 32 13 6 * 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、子育て広場、育児相談、子どもの歯事業は、4から6月は開催せず。					
	基本目標(章)	1 まちづくりの原	亰動力となるひと	づくり		
9. 総合計画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進			
	施策(項)	2 子どもの育ち	・発達の支援			

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の	D基本的方向	1 地域での子育	て家庭の支援				
3. 事業名	3	17 利用者支援	事業(特定型)				
4. 事業内	内容	保育担当窓口に保育コンシェルジュを設置し、保育サービス及び幼稚園等の情報収 集、情報発信、利用に関する相談業務等を行う。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	17					
6. 現状と	-課題	把握したうえで希 になっている施設	望する園を選択す	することができる。 きるように説明す	tうに、保育担当窓 る必要がある。ま	設なのか保護者が 窓口において複雑 た令和元年10月	
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	植、評価、今後の	方向性)				
	指標	設置箇所数					
	松本のなむ(光仏)			数值	<u> </u>		
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
=1 == /=	設置箇所数(箇所)	1	1	1	1	1	
計画値							
□ 4± /±	設置箇所数(箇所)	1					
実績値							
\ <u>.</u>	± + + (v)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
Į.	達 成 率(%)						
 評価							
µ1							
Α	:目標達成・目標に向けて順調						
В	:目標に向けて遅延	A					
_							
С	:未実施・廃止の方向						
今後の方	·向性						
1:拡大	4 ·縮小						
•		2:維持					
2:維持	5:終了						
3:改善	6:廃止						
	評価の理由	わるお問い合わる	保育コンシェルジ. せ、相談や幼児教 ウイルス感染症の	で育・保育の無償(とについての相談	などにも対応して	
8. 備	考	< 相談・情報提供件数 > R1 R2 664 383					
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		 施策(項)			_		

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	町民窓口課	
2. 施策の)基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援				
3. 事業名	í	18 平和推進事業					
4. 事業内	9容	戦争の悲惨さ、平和の尊さについての意識の高揚を図るため、平和思想の普及、啓発 に努める。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	18					
6. 現状と	-課題	内容を工夫するなどして若年層の参加を増やし、反戦反核、平和意識の継承を図ることが必要。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	平和イベント事業	ぎの参加人数				
	指標の名称(単位)			数值	直		
	拍標の名称(単型 <i>)</i> 	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	人	100	100	100	100	100	
可凹凹							
実績値	人	0					
天視胆							
25	達 成 率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	С					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、平和パネル展が中止となったため。					
8. 備	考	令和2年度担当課等:協働文化推進課					
		基本目標(章)					
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)					

1. 基本目	標	1 子育て家庭の	1 子育て家庭の支援			スポーツ課		
2. 施策の基本的方向 1 地域での子育て家庭の支援								
3. 事業名	i	19 寒川総合体	育館運営管理事	業				
4. 事業内	7容	多くの町民に体育	育館施設を利用し	てもらい、健康の	増進と体力の向上	こを図る。		
5. 事業番	5号(再掲含む)	19						
6. 現状と	課題	実した利用者サ-	ービスに向けて取	り組んでいる。	体育館の効率的が 手劣化への対応が	な維持管理及び充 「今後の課題であ		
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	体育館利用者数						
	指標の名称(単位)		数值					
	1日保の石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	人	280,000	280,500	281,000	281,500	282,000		
実績値	Д	92,909						
	達成率(%)	33.2	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由	制限しての開館で多くの町民の健康	をしたことに伴い、 東の増進と体力の	開館日数及び利向上を図るため、	のため、施設の休用者数が減少して、体育館施設の利面は利用者の制限	こいる。 用者を拡大してい		
8. 備	考	令和2年度担当	課等∶都市計画課					
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひとつ	づくり			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	2 生涯を通じた!	学びと自己実現 <i>の</i>	の促進			
		施策(項)	1 スポーツ・レク	リエーション活動	 の推進			

1. 基本目		1 子育て家庭の			担当課等名	 学び推進課
	· ·				15日本寺石	ナい正匹味
2. 施汞の	基本的方向 ————————————————————————————————————	1 地域での子育				
3. 事業名	i	20 青少年育成	事業 —————			
4. 事業内]容	キャンプなどの事育成を推進する。		年育成団体の活	動支援などにより	、青少年の健全
5. 事業番	号(再掲含む)	20				
6. 現状と	課題	小学生体験学習 業も定着してきて し、新規事業等を	いる。一方で、更	なる青少年の健治	シティアとの世代 全育成とマンネリ(間交流も図れ、事 比の脱却を目指
7. 年次計	画(指標、計画値、実績値、	評価、今後の方向]性)			
	指標	事業参加人数、事業数				
	指標の名称(単位)			数值	直	
	1日示公口你(早江)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	事業参加人数(人)	340	340	340	340	340
	事業数(事業)	2	2	2	2	2
実績値	事業参加人数(人)	0				
大順胆	事業数(事業)	0				
	達 成 率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	С				
 今後の方	 向性					
1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	3∶改善				
	評価の理由	新型コロナウイル	-ス感染症拡大防	止に伴い事業を	中止したため。	
8. 備	考	令和2年度担当記	果等∶保育∙青少华	F 課		
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	づくり	
9. 総合計	- 画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育で	ち・教育の推進		
		施策(項)	2 子どもの育ち	・発達の支援		

1. 基本目	x目標 1 子育て家庭の支援 担当課等名 学び推					学び推進課			
2. 施策 <i>σ</i> .	———————————)基本的方向	1 地域での子育	て家庭の支援						
3. 事業名	, 1	21 子ども情報紙発行							
4. 事業内	9容	子ども情報紙「すきっぷ」を幼稚園・保育所・小学生に配布する。							
5. 事業番	5号(再掲含む)	21							
6. 現状と	課題	年4回発行し、町内の子ども向けイベント周知に効果を上げている。掲載内容は町事業が中心となるが、より広いイベント情報の収集に力を入れる。							
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績値、	評価、今後の方向]性)						
	指標	年間発行回数							
	指標の名称(単位)	指標の名称(単位)			数值				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
計画値		4	4	4	4	4			
実績値	П	4							
	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А							
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持							
	評価の理由	年4回、町内の幼 の生涯学習の情	〕稚園、保育園、/ 報媒体として定着	ト学校に通う児童 「し、講座参加に繋	全員に配布するこ &げることができた	とで、子ども向け こ。			
8. 備	考	令和2年度担当訂	果等:協働文化推	進課					
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	づくり				
9. 総合計	h画2040での位置付け	政策(節)	2 生涯を通じた	学びと自己実現の	 D促進				
		施策(項)	2 生涯学習・地	域文化の推進					

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	スポーツ課		
2. 施策の)基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援					
3. 事業名	, 1	22 町営プール	運営管理事業					
4. 事業内	9容	夏季のスポーツ・レジャー施設として、利用者の需要に応えるため、現在休止中である町営プールの施設改修を実施する。(プール底面隆起により、平成25年7月30日より休止)						
5. 事業番	5号(再掲含む)	22						
6. 現状と	課題	町営プールの再整備については、早期再開を目指し、土地所有者である神奈川県企業庁と調整をすすめており、令和3年7月の開場を目指す。 なお、町営プール閉鎖の代替えとして、町内の小学校5校のプールを開放することで対応しているが、入場者に制限があるなど、すべての町民が利用できておらず、公平なサービスの提供ができていない。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	施設建設に係る	工事及び開場					
	指標の名称(単位)		数 值					
	1日保の石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	工事	0						
	開場		0					
実績値	工事	0						
	開場	_						
ě	室 成 率(%)	_						
	± /% + (/0/							
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
		2∶維持						
	評価の理由			目指し、土地所有 行い、管理を行う		と協議を進め、令 者の選定を実施し		
8. 備	考	令和2年度担当	課等∶健康・スポー	-ツ課				
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	 づくり			
9. 総合計	h画2040での位置付け	政策(節)	2 生涯を通じた	学びと自己実現の	D促進			
		施策(項)	1 スポーツ・レク		 の推進			

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	教育施設給食課		
2. 施策の)基本的方向	1 地域での子育	で家庭の支援					
3. 事業名	,	23 学校開放事	 業					
4. 事業内]容	町内の各小中学校の体育館や校庭を広く町民に開放し、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。						
5. 事業番	番号(再掲含む)	23						
6. 現状と	課題			の他公共の為の施 とがあると思われる				
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	学校開放利用数(コマ数)						
	指標の名称(単位)		数			値		
	1日1ボジカゴバ(平立/	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	コマ	10,200	10,500	10,800	11,000	11,300		
		1 160						
実績値	コマ	1,463						
ì	主 成 率(%)	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
		2:維持						
	評価の理由	学校体育施設等を学校の教育に支障のない範囲で、地域の団体に開放することで、社会教育その他公共の為に活用することが出来た。なお、令和2年度については、前年に引き続き、感染症対策のため、施設の利用可能コマ数自体が少なくなっている。令和元年度:12,774コマ→令和2年度2,674コマ(コロナによる休止8,462コマ)。それぞれの年度の利用率を計算すると、令和元年度は約63%、令和2年度は約55%とコロナの影響もありやや減程度のため、評価はAとした。						
8. 備	考							
		基本目標(章)		-	_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			<u> </u>			
		施策(項)		-	_			

1. 基本目	標	1 子育て家庭の	支援	担当課等名	教育政策課			
2. 施策の	基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援						
3. 事業名	1	24 公民館講座開催事業						
4. 事業内]容	青少年の健全育成を図るため、公民館を地域の学びの拠点として、青少年が地域で 様々なことを学び、体験できる機会を提供する。						
5. 事業番	持号(再掲含む)	24	55					
6. 現状と	課題		公民館講座に興味を持ち、参加する層には一定の成果が見られるが、公民館に足を運 ばない層へ働きかけていくためにも、講座内容の検討や他課との連携を図る必要があ る。					
7. 年次計	┢画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指 標 講座開催回数、参加者数							
	七冊のなむ/光上\		数					
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	開催回数(回)	142	142	142	142	142		
計画値	参加者数(人)	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450		
実績値	開催回数(回)	81						
天祖旭	参加者数(人)	2,467						
ě	を 成 率(%)	57.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		100.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
	· - -	1:拡大						
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館講座の実施が9月~12月と3月下旬に限定されたため、多くの予定事業が中止となった。開催回数はやむを得ず減少したが、各講座が概ね定員に達する参加があり、参加者数は目標値に達したため、評価はAとする。						
8. 備	考	令和2年度担当記	果等:教育総務課					
		基本目標(章)			1			
9. 総合計	画2040での位置付け	政策(節)			2			
		施策(項)			3			

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	町民窓口課	
2. 施策の)基本的方向	2 仕事と子育で	の両立				
3. 事業名	í	25 男女共同参	画推進事業				
4. 事業内	9容			Eを分かち合い、性 社会の実現に向け			
5. 事業番	号(再掲含む)	25					
男女共同参画への意識啓発を図るため事業を実施しているが会に 6. 現状と課題 齢層が固まっていたり、男女での参加人数が偏ってしまっていること テーマ設定等に工夫をしながらより多くの方や幅広い年齢層の参加					しまっていることが	がある。対象や	
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)							
	指標	研修会・講座の参加人数					
	指標の名称(単位)	数值					
	田保の石が(辛四)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	人	30	30	30	30	30	
実績値	Д	59					
· 通	性 成 率(%)	196.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小	2:維持					
	評価の理由	①男女共同参画推進市町村連携講座 家族で考えるワーク・ライフ・バランス〜我が家のリズムにあわせたもっと自由な生活を〜(YouTubeによる動画配信) 参加者:13名 ②2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業男女共同参画特別講演会 パパ' s絵本ライブ&トーク(YouTubeの字幕機能による字幕付き配信) 参加者:23組(46名)					
8. 備	考	令和2年度担当	課等:協働文化推	進課			
		基本目標(章)	6 まちづくりのた	-めの基盤づくり			
9. 総合計	計画2040での位置付け	政策(節)	1 つながる力の	促進			
		施策(項)	2 多様な主体に	よるまちづくりの	推進		

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	産業振興課		
2. 施策の)基本的方向	2 仕事と子育て	の両立					
3. 事業名	3	26 ハローワーク求人情報の提供						
4. 事業内	7容	ハローワークで情報提供している「ハローワーク求人情報」を得るためのパソコンを庁 舎に設置することにより、就業を希望する町民に対し、就業機会の確保を図る。						
5. 事業番	番号(再掲含む)	26						
6. 現状と課題		の実施は難しい。	。 尺やその管内の自	実を図る必要性(独の相談事業など 「現実的な取り組		
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
指 標 利用可能日数÷役場開庁日数×100								
	指標の名称(単位)		数值					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	%	100	100	100	100	100		
	%	100						
実績値	90	100						
i.	上 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持						
	評価の理由	結果として就労に				内事業等を通じて		
8. 備	考	(平成30年度:13件、 ・ハローワーク藤沢、 平成30年度:29企業63	令和元年度:12件、令和 鎌倉市、藤沢市、茅ケ 3名の参加【寒川2名】、	的としている件数を算出 印2年度:8件) 崎市と連携しながら、湘 令和元年度:29企業534 ロナ禍のため、企業数8	南合同就職説明会を開 名の参加【寒川1名】			
		基本目標(章)		-	_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)			_			

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	教育政策課	
2. 施策の)基本的方向	3 子育て家庭へ	の経済的支援の	充実			
3. 事業名	i i	27 奨学金制度推進事業					
4. 事業内	9容	経済的理由により高等学校や高等専門学校への修学が困難な者に対し、奨学金を無利子で貸与して修学を奨励する。また、奨学金の原資となる奨学金基金を増額して、奨学金制度の充実と安定を図る。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	27					
6. 現状と	-課題		公立高校授業料無償化等が実施され、保護者の教育費負担が軽減されている。県奨 学金制度の動向を踏まえ、制度の継続に必要な予算の確保を図る。				
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	奨学金基金の現	金総額				
	指標の名称(単位)			数值	1		
	拍標の名称(単型 <i>)</i> 	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	万円	1,080	1,110	1,140	1,170	1,200	
可回间							
宝结店	万円	1,183					
実績値							
25	達 成 率(%)	109.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	生						
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小	2∶維持					
	評価の理由	目標を達成し、奨学金制度を順調に運営することができているため。					
8. 備	考	令和2年度担当詞	課等:教育総務課	!			
		基本目標(章)		-	_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)		-	_		
		施策(項)		-	_		

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	教育政策課	
2. 施策の)基本的方向	3 子育て家庭へ	の経済的支援の	充実			
3. 事業名		28 就学援助等事業(小学校・中学校)					
4. 事業内	N容	経済的理由により就学困難と認められる町立小・中学校の児童生徒の保護者に対し、 学用品費や学校給食費など義務教育でかかる費用の一部を援助することにより、経済 的理由による未就学を解消し、義務教育の円滑な実施を図る。 町立小・中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し、学用品費や学 校給食費など義務教育課程でかかる費用の一部を援助することにより、保護者の経済 的負担を軽減し、特別支援学級における教育の普及奨励を図る。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	28					
6. 現状と	-課題	少子化により児童生徒数は減少傾向であるが、ひとり親家庭や収入が少ない家庭、及び特別な支援を要する児童生徒などの認定者は増加している。 今後も認定者の増加が見込まれ、保護者の経済的負担を軽減するために的確な経済 的支援の必要性が増すものと考えられる。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	就学援助等支給率=受給者数/認定者数 (就学援助等の認定者に対して、支給されているか)					
指標の名称(単位)		数值					
	日体の口が(千四)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
	%	100					
j	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由					かかる費用の一部 及奨励を図ること	
8. 備	考	令和2年度担当	課等:学校教育課				
		基本目標(章)					
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)					

1. 基本目	標	1 子育て家庭の	支援		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の)基本的方向	3 子育て家庭へ	の経済的支援の	充実			
3. 事業名	í	29 児童手当					
4. 事業内]容	次代の社会を担う子どもの育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもがいる家庭に手当を支給する。					
5. 事業番	等号(再掲含む)	29					
6. 現状と	課題	申請主義であるため、手続きに漏れがないよう対象者への周知徹底を図る。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	受給資格がある。	と思われる者に対	しての周知率、受	を給該当者に対す	る支給率	
	指標の名称(単位)			数 値			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	周知率(%)	100	100	100	100	100	
	支給率(%)	100	100	100	100	100	
実績値	周知率(%)	100					
	支給率(%)	100					
j	産 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
==: /==		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	· - ·—	2:維持					
	評価の理由	法に基づく手当て	ぎあり、今後とも周	知徹底を図ってし	ı८°		
8. 備	考						
		基本目標(章)		-			
9. 総合計	計画2040での位置付け	政策(節)		-	_		
		施策(項)		-	_		

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の	D基本的方向	3 子育て家庭へ	の経済的支援の	充実			
3. 事業名	<u> </u>	30 小児医療費	助成事業				
4. 事業内容		小児が病院等を受診したときに支払う医療費の保険診療分の自己負担額を町が負担する。0歳から中学卒業までの通院・入院が対象。令和2年度までは1歳以上所得制限あり。					
5. 事業都	番号(再掲含む)	30					
6. 現状と		が、令和3年度か	t、O歳児所得制隊 ら所得制限を廃」		こから所得制限有	りで実施してきた	
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の)方向性)				
	指標	受給資格がある	受給資格があると思われる者に対しての周知率、通院に係る助成対象者数				
	指標の名称(単位)			数值			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	周知率(%)	100	100	100	100	100	
	対象者数(人)	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	
	周知率(%)	100					
	対象者数(人)	5,578	0.0	0.0	0.0	0.0	
ž	達 成 率(%)	100.0 96.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	A A	0.0	0.0	0.0	0.0	
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	·向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	1:拡大					
	評価の理由	えるため、医療費た。新型コロナウ	理由によることなっ との一部を町が負っイルス感染症の の1700の1700の1700の1700の1700の1700の1700の17	担することにより、 影響で収入が減り	、小児の健康増進 >した子育て世帯	診できる環境を整 を図ることができ の経済的負担軽	
8. 備	考						
		基本目標(章)		-	_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

1. 基本目標		1 子育て家庭の支援			担当課等名	福祉課			
2. 施策の基本的方向		3 子育て家庭への経済的支援の充実							
3. 事業名		31 小児慢性特定疾病医療費助成							
4. 事業内容		18歳未満で指定された特定疾患のある児童が入院、通院したときの医療費を助成し、 保健及び福祉の向上に寄与する。							
5. 事業番号(再掲含む)		31							
6. 現状と課題		神奈川県所管事業。申請窓口は平成29年度より茅ヶ崎市保健所(平成28年度以前 は茅ヶ崎保健福祉事務所)。							
7. 年次記	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の)方向性)						
指標		神奈川県所管事業のため、進行管理は行わない。							
	指標の名称(単位)	A =======		数值					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
計画値									
実績値									
天祖 但									
達 成 率(%)									
評価 A B C 今後の方 1:拡大	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延: : 目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向 「向性4:縮小								
2:維持3:改善	5:終了								
	評価の理由			1					
8. 備	考								
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章) —							
		政策(節)	政策(節) —						
		施策(項)	_						

1. 基本目標		1 子育て家庭の支援			担当課等名	保険年金課			
2. 施策の基本的方向		3 子育て家庭への経済的支援の充実							
3. 事業名		32 出産育児一時金の支給							
4. 事業内容		国民健康保険の被保険者が出産した場合(他の医療保険制度より、同様の給付を受けられる場合を除く)一時金を支給する。なお、医療機関への直接払い制度も実施している。被保険者は出産費用の総額から出産育児一時金(42万円)を差し引いた差額のみ医療機関へ支払うことになり、町への一時金申請手続きが不要となる。							
5. 事業番号(再掲含む)		32							
6. 現状と課題		出産育児一時金の支給の内容については、国の基準に従って実施しているため、改正 に準じて対応していく必要がある。							
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)						
指標		出産育児一時金の件数							
	指標の名称(単位)	数值							
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
計画値	件	50	49	48	47	46			
実績値	件	34							
j	<u> </u> 達 成 率(%)	68.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А							
	向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持							
被保険者数の減少及び少子化に伴い年々実績は減少しているが、国民傾者の出産という観点からすると、100%支給しているため。									
8. 備	考								
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	目標(章)						
		政策(節)	_						
		施策(項)	_						

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の)基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実						
3. 事業名		33 幼児教育・保育の無償化事業						
4. 事業内	N容	を図るため、令利 児から5歳児の保	生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性に鑑み、幼児教育の負担軽減を図るため、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が開始されたことにより、3歳児から5歳児の保育料等を原則無償とする。また保育の要件を有し、一定の要件を満たしている保護者の児童が一時預かり事業等の利用をする場合、その費用も原則無償とする。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	33						
6. 現状と	-課題	幼稚園及び保育所から対象保護者に対して、周知を図る。複雑な事業なので、町から も広報等で周知を図る。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指 標		対象保護者であると思われる者に対しての周知率 対象保護者に対する支給率					
指標の名称(単位)				数值	1			
	相保の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	周知率(%)	100	100	100	100	100		
	支給率(%)	100	100	100	100	100		
実績値	周知率(%)	100						
大傾胆	支給率(%)	100						
4	達 成 率(%)	100	0.0	0.0	0.0	0.0		
	± 1% + (10)	100						
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由	保育所、幼稚園等に入園している児童の保護者には周知をしている。その他の施設を 利用している児童についても施設から周知をしている。年度内に請求があった分につ いての支給は全て終えている。						
8. 備	考	令和2年度担当	課等∶保育∙青少年	丰課				
		基本目標(章)			_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)		-	_			
		施策(項)		_				

1. 基本目	標	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	福祉課 神奈川県	
2. 施策の	基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	i	34 生活保護制度					
4. 事業内]容	生活に困窮している人に最低限度の生活を保障し、自立支援を図る。					
5. 事業番	号(再掲含む)	34					
6. 現状と	課題						
7. 年次計	一画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指 標	神奈川県所管事業のため、進行管理は行わない。					
	指標の名称(単位)	人和人在中	人和人在中	数 征		人和6左 英	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値							
実績値							
	隆成率(%)						
B C 今後の方I	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向 向性 4:縮小						
2:維持	5:終了 6:廃止						
	評価の理由						
8. 備	考						
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	画2040での位置付け	政策(節)					
		施策(項)			_		

1. 基本目	標 	1 子育て家庭の)支援		担当課等名	神奈川県、神奈川県社会福祉協 議会	
2. 施策の)基本的方向	3 子育て家庭へ	への経済的支援の	充実			
3. 事業名	1	35 生活困窮者	自立相談支援事	 業			
4. 事業内	9容	生活保護に至る前の支援で、支援計画の作成や就労促進等の支援や、一定の期間家賃相当額の支給等を行う。					
5. 事業番	5号(再掲含む)	35					
6. 現状と	課題						
7. 年次計	計画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の)方向性)				
	指標	神奈川県所管事業のため、進行管理は行わない。					
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	数 値	令和5年度	令和6年度	
=1.示债		71441克	7 削り半皮	7114415	〒和5十尺	マ 和り 十 反	
計画値							
実績値							
i	達成率(%)						
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向						
	評価の理由						
8. 備	考						
		基本目標(章)		-	_		
9. 総合計	計画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

	-						
1. 基本目	標	2 母子の健康の)確保と増進		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の	基本的方向	1 母と子の健康	づくり				
3. 事業名	3	36 利用者支援	事業(母子保健型	실)			
4. 事業内容		妊娠届を出した妊婦に、母子健康手帳とマタニティストラップを交付し、妊婦健診の受け方や父親母親教室等、町の事業を紹介する。また、妊婦及び申請者に面接し、予想外の妊娠や若年・高齢出産、多胎妊娠、妊娠中や産後の支援の有無等の情報を聴取することで、継続支援が必要な妊婦を把握する。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	36					
母子手帳交付時に妊婦及び申請者に面接し、支援が必要な妊婦を把握し、 状態確認や相談・支援に結びつけている。					畳握し、その後の		
7. 年次訂	十画(指標、計画値、実績	他、評価、今後の 	(方问性) 				
	指標	妊婦及び申請者への面接率					
	15 IT = 5 TE (17/11)			数值	<u> </u>		
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
実績値	%	100.0					
	70	100.0					
ì	達 成 率(%)	100.0	0.0	93.3	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	母子手帳の交付は必ずすべての妊婦と申請者に、助産師または保健師が面接し、妊婦を取り巻く状況の把握に努めながら、妊婦の不安に寄り添った対応を行っている。また支援が必要な妊婦を把握し、必要な妊婦には、電話等でフォローも行っている。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひとつ	ゔくり		
9. 総合計画2040での位置付け		政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進			
		政策(節) 1 子育で・子育ち・教育の推進 施策(項) 2 子どもの育ち・発達の支援					

1. 基本目	標	2 母子の健康の	確保と増進		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の)基本的方向	1 母と子の健康	づくり					
3. 事業名	<u></u>	37 母子健康教	育事業					
4. 事業内	P容				いての知識と技術いけづくりとして父	析を伝えるととも 親・母親教室等を		
5. 事業番号(再掲含む) 37								
6. 現状と	:課題	中の注意、お産の 的に育児参加で	ース4日間、年5コース開催している。主に初妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠 の注意、お産の知識、育児の実習等を取り入れて開催している。また、男性が積極 こ育児参加できるよう、男性向けのテキストを作成配布し、妊婦とパートナーが一緒 参加できるよう、最終日の育児実習は日曜日に開催。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	教室満足度						
	指標の名称(単位)	数值						
	11170000000000000000000000000000000000	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	%	100	100	100	100	100		
	0/	00.7						
実績値	%	93.7						
ì	· 成 率(%)	93.7	0.0	93.3	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由				、育児参加の意 父親の参加が定え			
8. 備	考	その後医療機関	令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、1コースを中止した。 その後医療機関で母親教室の見合わせが多い中、対応職員を増やし、感染防止対策 を徹底したうえで4コースを開催した。					
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	原動力となるひとつ	<u></u> _			
9. 総合計	†画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進				
		施策(項)	2 子どもの育ち	·発達の支援				

1. 基本目	標	2 母子の健康の)確保と増進		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の)基本的方向	1 母と子の健康づくり						
3. 事業名	i	38 母子健康相談事業						
4. 事業内	P容	乳幼児の成長発達を確認し、保護者の育児不安の解消を図る。						
5. 事業番	番号(再掲含む)	38						
6. 現状と	-課題		7か月児相談を開催している。新型コロナウイルス感染症の影響により、来所を控える 傾向が見られるため、こちらから訪問や電話でのアプローチに努める必要がある。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	相談主訴への対応率						
	指標の名称(単位)			1				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	%	100	100	100	100	100		
実績値	%	100						
i i	主 成 率(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由	7か月児相談では 保護者の育児不			、歯の手入れなど	の不安に対応し、		
8. 備	考	<相談来所人数等> 7か月H30R1R2来所人数(人)352301291来所率(%)93.196.282.7*令和元年度と2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部開催しない月もあったため、来所人数、来所率ともに減となっている。						
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	 づくり			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進				
		施策(項)	2 子どもの育ち	•発達の支援				

		Ī				-	
1. 基本目	標	2 母子の健康の)確保と増進	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の	基本的方向	1 母と子の健康					
3. 事業名		39 母子健康診	査事業				
4. 事業内	P容	妊娠経過や乳幼児の成長発達の健診を行い、安心して出産や育児ができるようする。また、異常等があれば早期に医療機関等へつなげる。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	39	91				
6. 現状と	-課題	母子保健法に基づき、妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、4か月児健康診査、お誕生前健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査事業を行っている。乳幼児健康診査(4か月児、お誕生前、1歳6か月児、3歳6か月児)の未受診者については、訪問等により状態を確認し、虐待予防を兼ねた全数把握を実施している。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	乳幼児健康診査受診率(4つの健康診査受診率の平均)					
指標の名称(単位)				数值	<u> </u>		
	111701111(平位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
実績値	%	96.4					
大似心							
į	達成率(%)	96.4	0.0	93.9	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	乳幼児健診の受診率は、4か月児健康診査96.7%、お誕生前健康診査96.5%、1 歳6か月児健康診査95.3%、3歳6か月児健康診査97.0%。健診の前にお知らせ をし、未受診の対象には受診勧奨のはがきを送付し受診を促している。未受診者には 訪問等で状況把握を実施した。					
8. 備	考		、月児健康診査及 ナによる受診控え				
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひとつ であったなるひとつ	づくり		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	ち∙教育の推進			
		施策(項)	2 子どもの育ち	・発達の支援			

1. 基本目	標	2 母子の健康の	つ確保と増進		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の)基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	<u> </u>	40 母子訪問指導事業					
4. 事業内容			訪問することで、。 育者の不安の軽減			動切な時期に実施 。	
5. 事業番	番号(再掲含む)	40					
6. 現状と	-課題	対象者の状態から適切な時期に訪問し、必要に応じ継続的に訪問することにより、対 象者の生活に寄り添う支援を実施している。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の)方向性)				
	指標	訪問指導が必要な家庭への訪問実施率					
指標の名称(単位)		A 1- a 1- r	A 1-0 + +	数值	_	A 1-0 +- +-	
	%	令和2年度 100	令和3年度 100	令和4年度 100	令和5年度 100	令和6年度 100	
計画値	90	100	100	100	100	100	
実績値	%	100					
大順心							
ì	達 成 率(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
	向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持					
	評価の理由	希望のある家庭だけでなく、訪問が必要と判断した家庭に対し、全件訪問を実施することで、対象者の状況確認と継続した訪問につなげ、保護者の不安軽減を図っている。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進			
		施策(項)	2 子どもの育ち	 ・発達の支援			

1. 基本目	標	2 母子の健康の	O確保と増進		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策0	の基本的方向	1 母と子の健康づくり						
3. 事業名		41 乳児家庭全戸訪問事業						
4. 事業内容		すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために様々な不安や悩みを 聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行う。						
5. 事業者	番号(再掲含む)	41						
6. 現状と	−課題	生後4か月までの全戸訪問を実施しているが、妊娠期の情報や出生時の状況から早期に訪問が必要な場合は、新生児期(生後28日以内)に訪問している。						
7. 年次記	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の)方向性)					
	指標	生後4か月までの	生後4か月までの乳児がいる家庭への訪問率					
	指標の名称(単位)	A 1- a 1- i-	A 1-0 + +	数值	_	A 1-0 1-1		
	%	令和2年度 100	令和3年度 100	令和4年度 100	令和5年度 100	令和6年度 100		
計画値	70	100	100	100	100	100		
実績値	%	100						
	<u> </u> 達 成 率(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由	出生児及び生後4か月までの転入児に全戸訪問(321件)し、状況を把握し、必要な支援を行っている。 出生児についてはできるだけ生後1か月以内の新生児期に訪問(97件)し、不安の軽減を図った。						
8. 備	考							
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	見動力となるひとつ	 づくり			
9. 総合詞	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進				
		施策(項)	1 子育て支援の)充実				

		1						
1. 基本目	標	2 母子の健康の	2 母子の健康の確保と増進 担当課等					
2. 施策の)基本的方向	1 母と子の健康	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名		42 食育教室						
4. 事業内	P容	回、後期講習会:	隔月で年6回)し	色の方を学ぶ教室、食材の内容や味 基盤となることを	付けを体験しても			
5. 事業都	番号(再掲含む)	42						
6. 現状と	課題 +画(指標、計画値、実績	第1子の保護者を中心に、児の個別性に合わせた指導を実施し、継続支援が必要な場合は、相談や訪問事業につないでいる。						
7. +%1	指標 教室満足度							
	T							
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	数 値 令和4年度	· 令和5年度	令和6年度		
計画値	%	100	100	100	100	100		
пые		25.0						
実績値	%	95.2						
ì	· 成 率(%)	95.2	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	Α						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由	前期R2 53人、後期 R25名が参加。 参加者からはおおむね高評価を頂いている。 教室後に継続的な支援が必要な母子には、育児相談や訪問を実施した。						
8. 備	考	新型コロナウイル	ンスの感染防止対	策のため、4月か	ら6月は事業を中	止とした。		
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひとつ	づくり			
9. 総合計	計画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育7	ち・教育の推進				
		施策(項)	2 子どもの育ち	・発達の支援				

1. 基本目	+m	0 日マの歴史の	母子の健康の確保と増進			数本标記处态 ==		
2. 施策の)基本的方向 ————————————————————————————————————	1 母と子の健康づくり						
3. 事業名	i	43 学校給食の充実						
4. 事業内	一家	小学生に対し、給食調理場施設および設備の修繕等を行い、安全で安心な給食を提供するとともに、成長期にある中学生に給食提供ができるよう、令和5年度を目途に小・中学校を合わせた給食センターを設置し、中学校完全給食を実施する。また、地場産の食材利用や栄養管理を行い、児童に対する食育を推進する。						
5. 事業番	琴号(再掲含む)	43						
6. 現状と	課題	学校給食の衛生・栄養管理を行い、食育及び給食指導のために各小学校に栄養士を配置する。安全性確保のため、学校給食施設の計画的な改善に必要な予算を確保する。財政状況が厳しい中、買い換えの必要な備品を修繕で対応している。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
		給食実施日数の割合(全小学校の給食実施延べ日数/全小学校の給食予定延べE 数)						
	指標の名称(単位)		数值					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	%	100	100	100	100	100		
実績値	%	100						
大 根 世		1000		2.5				
這	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由	安心、安全な小学校給食を円滑に実施するため、運営上必要な施設設備維持管理の充実と食中毒防止の強化を図った。合わせて、食器等の給食消耗品など必要物品の補充、給食従事員に月2回の検便検査および衛生研修等を実施し、給食の安全確保に努めた。また、中学校給食はミルク給食を実施し、合わせてスクールランチの提供も実施している。令和2年度は、コロナウィルスの影響で一斉休校もあり、本来の夏季休業期間中に給食提供を実施したり、通常とは異なる配膳や喫食等において感染防止対策を行う運用で安全な給食提供を行った。また、小中学校合わせた完全給食実施に向けて、令和元年度に策定した「給食センター整備基本構想・計画」にもとづき、設計業務を進め、令和3年度からの整備工事の準備を行った。						
8. 備	考							
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひとつ	 づくり			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	 ち・教育の推進				
		施策(項)	3 学校教育の推	<u></u> 進				

1. 基本目]標	2 母子の健康の)確保と増進		担当課等名	学校教育課 子育て支援課	
2. 施策の	D基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	 3	44 思春期の保健対策の強化					
4. 事業内	内容	電話相談等を中心に対応を図る。 学校における性教育の充実を図るため、必要に応じて指導・助言を行う。					
5. 事業都	番号(再掲含む)	44					
6. 現状と	-課題	育については、学	学校教育課:複雑な家庭環境下の相談事例が漸増している。また、学校における性教育については、学習指導要領に則り充実が図られるよう指導・助言を行っている。 子育て支援課:相談希望時に対応をしている。				
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の)方向性)				
	指標	相談対応率					
	指標の名称(単位)			数值			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
 実績値	%	100					
天祖 但							
j	達 成 率(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	学校教育課の教育相談事業として思春期特有の悩みを持つ保護者からの相談について、相談者のニーズに寄り添い対応している。 子育て支援課に相談があった場合は、保健師等が対応を行っている。					
8. 備	考						
		基本目標(章)		-	_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

1. 基本目	標	2 母子の健康の	2 母子の健康の確保と増進 担当課等名 子育て支援				
2. 施策の	D基本的方向	1 母と子の健康	づくり			,	
3. 事業名		45 特定不妊治療費補助事業					
4. 事業内	内容	医療保険が適用されず高額の医療費がかかる体外受精及び顕微授精に要する費用 の一部を助成する。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	45					
6. 現状と	-課題	収入が少ない家	壬治療に悩む方へ 庭も多い。少しで・ 助成を行っている	も家庭への負担を	事業」を実施して 軽減させる必要が	いるが、若年層の があるため、県の	
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)							
	指標受給資格があると思われる者に対しての周知率、助成対象者数						
	七冊の夕折(当片)			数值	<u> </u>		
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値・	%	100	100	100	100	100	
	人	35	35	35	35	35	
□ /± /±	%	100					
実績値	人	38					
	- b co	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
Ì	達 成 率(%)	108.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	·向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持					
	評価の理由	平成25年度の制度開始以降、毎年度コンスタントに申請があり、内容を精査のうえ全ての申請に対応できているため。					
8. 備	考						
		基本目標(章)					
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

1. 基本目	標	2 母子の健康の確保と増進 担当課等名 子育て支援				子育て支援課		
2. 施策の)基本的方向	1 母と子の健康	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名		46 不育症治療費補助事業						
4. 事業内	内容	医療保険が適用されない不育症治療に要する費用の一部を助成する。						
5. 事業番	番号(再掲含む)	46						
6. 現状と		への負担を軽減	させる必要がある		が少ない家庭も多	多い。少しでも家庭		
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	i値、評価、今後の)方向性) ————————————————————————————————————					
	指標の一般では、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ							
	指標の名称(単位)			数值	1			
	1日1赤の石1か(平位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	%	100	100	100	100	100		
	人	2	2	2	2	2		
実績値・	%	100						
大順胆	人	1						
25	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
Į.	主 	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	·向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持						
	評価の理由	1件の申請があり助成した。必要とする方へは医療機関を通じて周知がなされており、 助成制度を設けておくことに意味があるという評価を外部からも頂戴しているという状 況を踏まえ、A評価とした。						
8. 備	考							
		基本目標(章)		-	_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)			_			

1. 基本目	標	2 母子の健康の)確保と増進		担当課等名	健康づくり課	
2. 施策の)基本的方向	2 保健医療の充	 E実				
3. 事業名		47 初期救急医療確保対策事業					
4. 事業内	内容	平日夜間・休日の急患に対し、小児科等適切な医療が受けられるようにするため、茅ヶ崎市と協定し茅ヶ崎市地域医療センターにおいて診療を提供する。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	47					
3 また崎市、茅ヶ崎医師会等との協力を得て茅ヶ崎市地域ででである。				地域医療センター	-における休日・		
7. 年次計	7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
	指標	茅ヶ崎市地域医療センター利用周知の実施回数(回)					
	指標の名称(単位)	人 和0左曲	人 知0左曲	数值	_	△和c左曲	
		令和2年度 13	令和3年度 13	令和4年度 13	令和5年度 13	令和6年度 13	
計画値		10	10	10	10	10	
実績値	回	13					
天祖但							
į	達成率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	広報さむかわ(12回/年)、さむかわ健康だより(1回/年)へ掲載し、町民へ周知できている。					
8. 備	考	令和2年度担当課等:健康・スポーツ課					
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)		-	_		
		施策(項)			_		

1. 基本目	標	2 母子の健康の)確保と増進		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の)基本的方向	2 保健医療の充	. 実					
3. 事業名	á	48 母子予防接種事業						
4. 事業内]容	種を実施するとと	母子の感染症を予防するとともに、そのまん延や重症化を防ぐため、A類定期予防接種を実施するとともに、対象者が適切に接種できるよう、接種時期、接種回数、実施場所等を周知する。					
5. 事業	番号(再掲含む)	48	48					
6. 現状と	課題	なるなど、予防接令和2年HPVワク	平成26年水痘 平成28年B型肝炎 令和元年ロタウイルスワクチンが定期接種対象になるなど、予防接種の種類が増えて、受け方が複雑かつ煩雑になってきている。令和2年HPVワクチンの周知等について国からの通知があり、ワクチン接種の効果やリスクなどを対象者に伝えることが求められている。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
主要予防接種(定期A類予防接種のうち接種回数が1回の予防接種 MR I 期 BCG 2種混合)の平均予防接種率				MRI期 II期				
	指標の名称(単位)	指標の名称(単位)						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	%	90.0	90.5	91.0	91.5	92.0		
実績値	%	92.6						
人根尼								
ì	達成率(%)	102.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由		し事業を実施する い児に対し、償還		り等委託医療機関	で予防接種を受		
8. 備	考		5校1年生相当の年 ジ等を紹介する通			て知ってもらうた		
		基本目標(章)						
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)		-	_			
		施策(項)						

1. 基本目	標	3 教育環境の整	E 備		担当課等名	学校教育課
2. 施策の)基本的方向	1 学校教育の充	 E実			
3. 事業名	í	49「生きる力」の育成事業(小学校・中学校)				
4. 事業内	7容	校内研究への補を推進する。	助や、地域協力者	されていいます かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた	て、児童又は生徒	€の「生きる力」の育成
5. 事業番	番号(再掲含む)	49				
6. 現状と	課題		協力者への謝礼、 カ」の育成が推進		、の補助を通して、	教育活動の充実が
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)			
校内研究の成果を実践報告により目的の達成度をABCの3段階で評価する 指標 1、C=0と数値化し、次のように設定する。 小学校:2×5=10、中学校:2×3=6				平価する。A=2、B=		
	 指標の名称(単位)				値	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	小学校	10	10	10	10	10
	中学校	6	6	6	6	6
実績値	小学校	10				
	中学校	6				
i	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А				
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持				
	評価の理由	学び」の授業改善 実を図っている。	きの実現に向けて	、外部講師を招聊 んせい」の活用を	専するなどし、各校 通して、児童・生徒	注体的・対話的で深い での校内研究の充 走の豊かな人間性の
8. 備	考					
		基本目標(章)			_	
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_	
		施策(項)			_	

1. 基本目	標	3 教育環境の整	E 備	担当課等名	学校教育課		
2. 施策の	2. 施策の基本的方向 1 学校教育の充実						
3. 事業名	i	50 教育コンピュ	50 教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校)				
4. 事業内	7容	た教育充実のた。 →【変更】学習指	情報活用能力を育成するために、教育用コンピュータの活用を図り、今後のICTを活用した教育充実のために整備を推進していく。 →【変更】学習指導要領で求められている情報活用能力を育成するために、ICT機器を活用した教育が充実できるよう、ICT機器の整備を推進していく。				
5. 事業番	寿号(再掲含む)	50					
6. 現状と	課題	小中学校のコンピュータ教室に、児童生徒1人1台のコンピュータを整備し、情報化に対した教育の充実を図ってきたところだが、GIGAスクール構想によって、児童・生徒一人にりにタブレット端末が導入されることとなった。これを受けて、タブレット端末を授業の中効果的に活用できるよう、ソフト面・ハード面でのICT機器の充実を図る。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指 標	①ICT機器等の利活用率=PC関連授業数/総授業数 ②普通教室への情報化対応機器(実物投影機1台とプロジェクター1台)の整備率(%)					
长师の名称(光仕)				数	値		
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	①(%)	30	30	30	30	30	
	2(%)	100	100	100	100	100	
実績値	①(%)	22					
	2(%)	39					
į	達 成 率(%)	73.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	39.0 B					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善		1:拡大					
	評価の理由	学年数を配備でき、導入されたタブレット端末を授業で活用する際の共有ツールとして使用している。					
8. 備	考		令和元年度からGIGAスクール構想に伴い、一人一台タブレットを導入することになった。 第2期策定当初の状況と現状と差異がでるため、事業内容及び指標の変更をしたい。				
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひとつ	づくり		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	・教育の推進			
		施策(項)	3 学校教育の推	 進			

1. 基本目	標	3 教育環境の整	E 備		担当課等名	学校教育課	
2. 施策0	の基本的方向	1 学校教育の充実					
3. 事業名	3	51 教育相談事業					
4. 事業内容		不登校や様々な問題を抱えている家庭に対して、相談指導教室専任教員、児童精神科医師、心理士、訪問相談員、学生相談員等による相談活動を行い、児童・生徒及び保護者の心の安定を図り、よりよい学校生活を送らせるために支援を行う。					
5. 事業都	番号(再掲含む)	51	69				
6. 現状と	:課題	相談内容が多様化してきており、よりきめ細かい対応が求められている。不登校の数は中 学校になると増加している。中学生へのきめ細かいケアが必要である。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	児童·生徒、保護	者からの寒川町	相談指導教室、教	対育研究室への相	談対応率	
	指標の名称(単位)				値		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
実績値 %	%	100					
ĭ	· 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	A					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	を組み、連携しな		い子O」を目標に	二教育相談や指導	生相談員等でチーム を行っている。児童・	
8. 備	考	平成30年度 3899件 令和元年度 3494件 令和2年度 3340件					
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

1. 基本目	標	3 教育環境の整	3 教育環境の整備 担当課等名 学校教育課					
2. 施策0	D基本的方向	1 学校教育の充	·····································					
3. 事業名	 3	52 教職員の資質向上事業						
4. 事業内	内容		きる力」を育成すん 研究会の充実を図		教職員の資質向」	上を図る。(町研修会		
5. 事業都	番号(再掲含む)	再掲含む) 52						
6. 現状と		学習指導要領が改訂され、完全実施となっている中で、急速に進展し続ける社会からは、 児童生徒の21世紀を生き抜くための力の育成が求められており、学校に期待される役割 と教員に求められる資質能力の向上は重要である。今後も教職員が「学び続ける」ために は、学校教育を取り巻く喫緊の課題に対する研究や実践的指導力の向上のためなどの研 修を継続および充実させる必要がある。						
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性) 								
	指標	標数職員研修会、教育講演会、教育研究員研究会の参加人数						
	七世の夕む(出仕)			数	値			
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	Д.	550	550	550	550	550		
中维法	<u>, </u>	58						
実績値								
ĭ	達成率(%)	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善		2:維持						
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教職員研修会、教育講演会は開催されなかった。教育研究員研究会は2部会のみ少人数で行った。						
8. 備	考							
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひとつ	づくり			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育な	ち・教育の推進				
		施策(項)	3 学校教育の推	進				

				-			
1. 基本目	標	3 教育環境の整	整備		担当課等名	教育政策課	
2. 施策の)基本的方向	2 幼児教育の弁	 E実				
3. 事業名	í	53 子ども読書/	ふれあい事業				
4. 事業内容 未就学児と保護者等を対象の「おはなし会」や、乳幼児と保護者 だっこのおはなし会」を開催し、幼児期から本に親しむことができ							
5. 事業番	舒号(再掲含む)	53					
6. 現状と	課題	曜日の月2回実施	施。参加者も多く、		いる。乳幼児期か	51日曜日、第4水 ら本に親しむ機会 する。	
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)							
	指標	実施回数 事業参加人数					
	比無の力だ/ツルン						
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	数 値	 令和5年度	令和6年度	
計画法	回	60	60	60	60	60	
計画値	人	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
実績値	回	11					
大似世	人	73					
45	董 成 率(%)	18.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	· /火 十 (///	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В					
	· - ·—	2:維持					
	評価の理由	はなし会は10月~ の他の子ども向り	~12月に開催回数 ナ講座は中止とし	止のため、土曜日 女を減らし、事前申 た。3密回避のた はやむを得ない。	I込制で定員を設め、通常の対面用	けて実施した。そ	
8. 備	考	令和2年度担当課等:教育総務課					
		基本目標(章)		-	_		
9. 総合計	-画2040での位置付け	政策(節)		-	_		
		施策(項)		-	_		

1. 基本目	標	3 教育環境の整備 担当課等名 学び推進課						
2. 施策の)基本的方向	3 家庭や地域の	教育力の向上					
3. 事業名	í	56 青少年指導	青少年指導員活動事業					
4. 事業内	N容	青少年指導員を 全育成を行う。	置き、学校及び子	とも会その他関係	系機関との連携に	より青少年の健		
5. 事業番	番号(再掲含む)	56						
6. 現状と	-課題	研修等を行い青	少年指導員の更	なる資質向上を図	る。			
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績値、	評価、今後の方向	1性)					
指標会議や研修に参加した人数								
	指標の名称(単位)			数值	Ī			
	161赤の石が(平位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	Д	20	20	20	20	20		
	人	18						
実績値		10						
	達 成 率(%)	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善		2:維持						
	評価の理由	新型コロナウイル	ンス感染症拡大 防	5止に伴い会議や4	研修の大半を中』	ととしたため。		
8. 備	考	令和2年度担当記	果等∶保育∙青少幼	年課				
基本目標(章) 1 まちづくりの原動力となるひとづくり								
9. 総合計	†画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育	ち・教育の推進				
		施策(項)	2 子どもの育ち	·発達の支援				

1. 基本目	標	3 教育環境の整	E備		担当課等名	学び推進課	
2. 施策の)基本的方向	3 家庭や地域の	教育力の向上				
3. 事業名	í	57 さむかわゆう	うゆう学園事業				
4. 事業内	羽容	地域で子どもを育てていくことが大切なものとなってきたことから、公民館等で行っる子ども向け事業を「ゆうゆう学園」として体系化、週末を利用した子ども達の体験を推進する。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	57					
6. 現状と		各課協力の下、ゆうゆう学園対象事業を拡大していく。 周知に力を入れ、各年度の修了証申請者数の増を目指す。					
7. 年次訂	十画(指標、計画値、実績値、 	評価、今後の方向	引生 <i>)</i>				
	指 標 ゆうゆう学園対象事業に通算10回の参加者に対する修了証の交付者数						
					直		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	Д	40	40	40	40	40	
実績値	Д	5					
	達成率(%)	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	В					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	新型コロナウイル も影響を受けたた		止のため事業が	大幅に中止となり	、修了証交付者数	
8. 備	考	令和2年度担当記	果等:協働文化推	 進課	_		
		基本目標(章)	1 まちづくりの原	動力となるひと	 づくり		
9. 総合計画2040での位置付け		政策(節)	2 生涯を通じた!	学びと自己実現の	の促進		
		施策(項)	2 生涯学習・地域	 域文化の推進			

1. 基本目	標	4 子育てを支援	する生活環境の	整備	担当課等名	福祉課	
2. 施策の)基本的方向	1 バリアフリーの	のまちづくり				
3. 事業名	,	58 公共施設バリアフリー化の情報提供					
4. 事業内	P容	公共施設のバリアフリー化を推進するための情報提供を行う。					
5. 事業番	5号(再掲含む)	58					
6. 現状と課題 公共施設のバリアフリー化を推進				するための情報技	是供を行う。		
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指 標	国・県から法改正等の情報提供があった場合に、町から関係機関等へ周知しているため、町での指標の設定はできない。				へ周知しているた	
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	数值令和4年度		△和○左曲	
=1-14		〒和∠平及	□ □ 和3年度	7144年度	令和5年度	令和6年度	
計画値							
実績値							
ì	· 成 率(%)						
評価 A B C 今後の方 1:拡持 2:維持 3:改善	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向 向性 4:縮小 5:終了 6:廃止						
	評価の理由						
8. 備	考						
		基本目標(章)		-	_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)		-	_		
		施策(項)		-	_		

1. 基本目	標	4 子育てを支援する生活環境の整備 担当課等名 道路					
 2. 施策の	——————————)基本的方向	1 バリアフリーの	1 バリアフリーのまちづくり				
3. 事業名			 整備事業				
歩行者の安全対策を目的にした歩道整備や未舗装道路の道路改良を行い 適な生活を確保する。					を行い、安全で快		
5. 事業番	5号(再掲含む)	59					
6. 現状と	課題	緊急度の高い路線の歩道整備を推進するための事業費の確保、また、都市計画道宮山線の進捗に併せ、宮山倉見13号線、宮山50号線外の用地測量や用地取得等進め整備(工事)していく必要がある。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	歩道設置及び未舗装道路整備延長					
	指標の名称(単位)	数值					
	m	令和2年度 145	令和3年度 125	令和4年度 75	令和5年度 76	令和6年度 172	
計画値	III	140	120	70	70	172	
実績値	m	609					
	達成率(%)	420.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	Α					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	令和2年9月補正にて未舗装道路整備の予算措置を行い、事業を進めることができた。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	5 時代に最適化	こしたにぎわいのも	あるまちづくり		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 都市インフラの	 の最適化			
		施策(項)	1 道路の整備				

1. 基本目	標	4 子育てを支援	する生活環境の	整備	担当課等名	都市計画課		
2. 施策の)基本的方向	1 バリアフリーのまちづくり						
3. 事業名	1	60 JR相模線倉	60 JR相模線倉見駅バリアフリー整備事業					
4. 事業内	3容	子ども、子ども連れの親が安心して鉄道駅を利用できるよう、エレベーターの設置や多機能トイレを整備し、駅施設の利便性・安全性向上を図る必要があることから、事業実施主体であるJRと適宜協議をう。						
5. 事業番	舒号(再掲含む)	60						
6. 現状と	課題	寒川町内で鉄道駅は3駅(寒川駅、宮山駅、倉見駅)中、バリアフリー化が図られていない駅は倉見駅のみである。 バリアフリー化にあたっては、地方公共団体から鉄道事業者への支援が必要となる。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標		リアフリー対策率 斉駅数/全駅数)					
	七悔の夕折(当片)			数值	直			
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	%	100	100	100	100	100		
実績値	%	100						
i	L	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	5:終了						
	評価の理由	倉見駅のバリアフリー化について、JR東日本横浜支社と協議を行い、令和3年3月でJRによるエレベータ設置工事が完了した。						
8. 備	考							
		基本目標(章)	5 時代に最適化	としたにぎわいの	 あるまちづくり			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 都市インフラ(の最適化				
		施策(項)	2 公共交通網の	 D整備				
		l						

1. 基本目]標	4 子育てを支援する生活環境の整備 担当課等名 都市計画課				都市計画課		
2. 施策0	D基本的方向	2 安全・安心ま	ちづくり					
3. 事業名		61 住環境整備	推進事業					
4. 事業内	内容	良質な賃貸住宅を探している人に公的住宅募集情報を提供するとともに、良好な居住 環境の形成に向けた情報提供を行う。 また、同時に高齢者、障害者、外国人、子育て世帯の入居を受け入れる民間賃貸住宅 (安心賃貸住宅)の情報提供を行う。						
5. 事業都	番号(再掲含む)	61						
6. 現状と	公的優良住宅募集情報を窓口にて配布。 多くの人に、情報提供できるようにしていく必要がある。							
7. 年次記	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	公的賃貸住宅入居募集情報(あんしん賃貸住宅を含む)の提供						
	指標の名称(単位)			数值				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値		6	6	6	6	6		
実績値	回	4						
大限吧								
ì	達 成 率(%)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善		2:維持						
	評価の理由	当町には公営住宅が存在しないため、できる範囲での情報提供になるが、年4回の発行のタイミングでは欠かさず行っているため。						
8. 備	考							
		基本目標(章)						
9. 総合訂	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)						

1. 基本目	標	4 子育てを支援する生活環境の整備 担当課等名 都市計画				都市計画課	
2. 施策の	まの基本的方向 2 安全・安心まちづくり						
3. 事業名	<u> </u>						
3. 争未名	1	62 公共交通充実促進事業					
4. 事業内]容			て路線バス等を利 など、路線バス等			
5. 事業番	5号(再掲含む)	62					
6. 現状と	課題	路線バス等は利用者が少ないと収益が出ず、減便の可能性がある。 路線バス等の利用増には、まずは多くの人に知ってもらい、身近に感じてもらう必要が ある。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	運行車両展示回数、施設等でのチラシ配架箇所数					
	指標の名称(単位)	数 值					
	指標の右柄(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	回	1	1	1	1	1	
	箇所	9	9	9	9	9	
実績値	回	0					
実績値	箇所	12					
i	達 成 率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		133.3					
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2∶維持					
	評価の理由	新型コロナウイルスの影響により、イベントでの運行車両の展示は中止となった。 チラシの配布については、利用客が見込める路線バスルート付近の施設や企業等12 箇所への配布を行った。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	5 時代に最適化	としたにぎわいの ま	 あるまちづくり		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 都市インフラ	の最適化			
		施策(項)	2 公共交通網の	の整備			

	4 子育てを支援	する生活環境の	 整備	担当課等名	学び推進課	
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心ま		EE MU	3_ — PN 3 H	町民安全課	
3. 事業名	63 安全·安心/	パロール活動の	推進			
4. 事業内容	寒川町PTA連絡協議会が実施する「こども110番パトロール」を支援し、青少年指導員によるパトロールを実施する。 防犯アドバイザーと防犯相談員による定期的なパトロールを実施する。					
5. 事業番号(再掲含む)	63					
6. 現状と課題	パトロールの要望のあった箇所を重点的に実施している。 パトロールにあたり、効果的な時間帯や重点地域などを検討する。 さらに犯罪抑止を図るため、青色回転灯を装着した公用車による職員パトロールの実 施について検討する。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
指標	青少年指導員:実施回数 防犯アドバイザー等:実施回数					
指標の名称(単位)		数值				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値 青少年指導員(回)	5	5	5	5	5	
防犯アドバイザー等(日)	230	230	230	230	230	
実績値 青少年指導員(回)	0					
防犯アドバイザー等(日)	244					
】 達 成 率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
<i>∠</i> / ∞ + (**)	106.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A:目標達成・目標に向けて順調 B:目標に向けて遅延 C:未実施・廃止の方向	А					
今後の方向性 1:拡大 4:縮小 2:維持 5:終了 3:改善 6:廃止	2:維持					
評価の理由	イザー・防犯相談員 からの不審者情報が 評価「A」、今後の方	感染症拡大防止によ によるパトロールはや 「あった場所を含め」 向性「2:維持」とした 本お休みのため実績	兄日と年末年始を除し パトロールを実施した。 ※土曜日・日曜日も	ヽてほぼ毎日活動し、 こと、継続して実施す ら交代で勤務し防犯ノ	学校や教育委員会 る必要があることから	
8. 備 考	令和2年度担当	捰等∶保育 ∙ 青少年	F課、町民安全課 -			
	基本目標(章)	1 まちづくりの原動	動力となるひとづくり	4 安全・安心に暮	らせるまちづくり	
9. 総合計画2040での位置付け	政策(節)	1 子育で・子育ち	・教育の推進	1 安全・安心の充	実	

1. 基本目	標	4 子育てを支援する生活環境の整備 担当課等名 町民安全課					
2. 施策の)基本的方向	2 安全・安心まちづくり					
3. 事業名	, 1	64 交通安全活	動事業				
4. 事業内	3 容	交通安全指導や安全教育に関し交通指導員を中心にして推進する。 交通事故から子どもを守るため、新入学児童に黄色い帽子を配布する。 交通事故防止のため、町内各小学校において交通安全教室を開催する。(1年生 路の通行方法、3年生:自転車の通行方法)					
5. 事業番	5号(再掲含む)	64					
6. 現状と		各小学校へ黄色い帽子の必要性について周知し、着帽率を上げるよう呼びかける。					
7. 年次計	ナ画(指標、計画値、実績 	値、評価、今後の)万何性) ————————————————————————————————————				
	指標	交通事故件数(各年とも1~12月末までの数値)					
	指標の名称(単位)	数值					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	件	168	163	158	153	148	
実績値	件	132					
i	L	78.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	コロナ禍により令和2年度「交通指導員による交通安全教室」は中止としたが、交通事故発生件数が、目標としている計画値を達成したため、評価を「A」とした。各小学校の新入学児童の黄色い帽子の配布について、学校からも継続要望があることから今後の方向性について「2:維持」とした。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	4 安全・安心に	暮らせるまちづくり	J		
9. 総合計	計画2040での位置付け	政策(節)	1 安全・安心の	充実			
		施策(項)	3 交通安全・防	犯対策の充実			

1. 基本目標		4 子育てを支援	する生活環境の	整備	担当課等名	教育政策課		
2. 施策の基本的	 方向	2 安全・安心ま	らづくり					
3. 事業名		65 子どもを守るための活動の推進						
4. 事業内容		子どもの防犯意識の高揚に努める他、関係団体が実施する「ハートの家」事業等を支援する。						
5. 事業番号(再掲	(含む)	65						
6. 現状と課題	ドと課題 「ハートの家」事業は、社会教育関係補助団体である寒川町PTA連絡協議会カーを作成し、小学校単位PTAごとで地域に設置依頼を行っている。							
7. 年次計画(指標	、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
指	標	事業自体は、関係団体が実施しているため、支援のための目標指標は設定しない。						
15福0	D名称(単位)			数值	1			
担保0	7名孙(单位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値								
実績値								
夫 棋他								
達成	率 (%)							
	・目標に向けて順調							
	向けて遅延							
	:・廃止の方向							
今後の方向性	,)光正()/) [1-]							
1:拡大 4:縮小								
2:維持 5:終了								
3:改善 6:廃止								
評価の	理由							
а ⊤ IШ 02-	' ±ш							
8. 備 考		令和2年度担当	課等∶教育総務課	!				
		基本目標(章)		-				
9. 総合計画2040	Oでの位置付け	政策(節)		-				
		施策(項)	施策(項)					

1. 基本目	標	4 子育てを支援する生活環境の整備			担当課等名	町民安全課	
2. 施策の)基本的方向	2 安全・安心まっ	ちづくり				
3. 事業名 66 防犯対策推進事業(小学校)							
4. 事業内	7容	新1年生に対する防犯ブザーの貸与、子どもの安心・安全を見守る推進委員の活 進を通して、登下校時の子どもたちの安全確保を図る。				έ進委員の活動推	
5. 事業番	号 (再掲含む)	66					
6. 現状と	課題	児童の安全が完全に確保されたとは言えないが、登下校時の安全についての意識高 揚、注意喚起を図る。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	新1年生への防犯ブザー貸与率					
	指標の名称(単位) 数値						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
実績値	%	100					
	L	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B	: 目標達成・目標に向けて順調 : 目標に向けて遅延 : 未実施・廃止の方向	A					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	向性 4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	町内に在籍する新1年生に対する防犯ブザーの貸与するとともに、子どもの安心安全を見守る推進委員の活動推進を通じて、登下校時の子どもたちの安全確保を図ることができた。					
8. 備	考	令和2年度担当課等: 学校教育課					
		基本目標(章)	4 安全・安心に	暮らせるまちづくり	J		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)	1 安全・安心の	<u></u> 充実			
		施策(項)	3 交通安全・防	犯対策の充実			

1. 基本目	標	4 子育てを支援	する生活環境の	整備	担当課等名	町民安全課	
2. 施策の)基本的方向	2 安全・安心ます	<u></u> ちづくり				
3. 事業名	i	67 防犯灯整備	事業				
4. 事業内]容	町内に設置している防犯灯の適正な管理と地域からの要請に基づく計画的な設置を行 う。					
5. 事業番	5号(再掲含む)	67					
6. 現状と		夜間の犯罪抑止を図り、安心なまちづくりを推進するため、地域からの要望に基づく設置と町内に設置している防犯灯の適正な管理を行う。					
7. 千久司		に、計画、ブラッ	/ /リドリ エ/				
	指標	防犯灯設置件数					
	指標の名称(単位)	人和人在中	人和0左 英	数值	1	人和6左 英	
=1=#	件	令和2年度 20	令和3年度 20	令和4年度 20	令和5年度 20	令和6年度 20	
計画値							
実績値	件	35					
道	崔成率(%)	175.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	地域からの要望等により、防犯灯を適切な箇所に設置できたこと、継続して設置をしていく必要があることから評価「A」、今後の方向性「2:維持」とした。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	4 安全・安心に	暮らせるまちづくり)		
9. 総合計	ト画2040での位置付け	政策(節)	1 安全・安心の	充実			
		施策(項)	3 交通安全・防	犯対策の充実			

1. 基本目	 l標	4 子育てを支援	する生活環境の	 整備	担当課等名	学び推進課	
2. 施策 <i>0</i>	 D基本的方向	2 安全・安心ま	ちづくり				
3. 事業名	2	68 薬物乱用防	止啓発事業				
4. 事業内	内容	青少年の薬物乱 発活動を支援する		て、関係団体が	実施する小中高校	生を対象とした啓	
5. 事業番	番号(再掲含む)	68					
6. 現状と	-課題	法律で規制している薬物だけでなく、危険ドラッグなども社会問題となっている。自 演会や町内の各種イベントに出向き、啓発活動を実施しており、その支援を町が いる。今後は小学生への積極的な啓発も必要と考える。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)							
	指 標	事業自体は、青少年環境浄化推進協議会が実施しているため、支援のための目標 標は設定しない。				のための目標指	
	指標の名称(単位)			数值			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値							
実績値							
	達 成 率(%)						
	连						
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向						
今後の方							
1:拡大							
2:維持							
3:改善	6:廃止						
	評価の理由						
8. 備	考	令和2年度担当課等∶保育·青少年課					
		基本目標(章)					
9. 総合計	†画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

1. 基本目	標	4 子育てを支援する生活環境の整備 担当課等名 町民窓口課				町民窓口課		
2. 施策の)基本的方向	2 安全・安心また	ちづくり					
3. 事業名	 3	71 犯罪被害者	等見舞金支給事	業				
4. 事業内	内容	自らの責めに帰すべき事由がないにもかかわらず、人の生命又は身体を害する犯罪 行為により、不慮の死を遂げた町民の遺族又は傷害を受けた町民を支援するために 見舞金を支給する。また、心のケア等が必要な方に相談窓口等の紹介を行う。						
5. 事業番	番号(再掲含む)	71						
6. 現状と	·課題	見舞金制度を設けている市町村は少なく、周知方法については改善の余地がある。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	制度の周知回数						
	指標の名称(単位)		数 值					
	161赤の石1小(平位/	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値		2	2	2	2	2		
		2						
実績値	Щ	2						
i	主 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	·向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持						
	評価の理由	ホームページ及びくらしの便利ガイドへの掲載を行った。						
8. 備	考							
		基本目標(章)			_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)						

1. 基本目	標	4 子育てを支援	する生活環境の	整備	担当課等名	学び推進課		
2. 施策の	D基本的方向	3 子どもの遊び場の確保						
3. 事業名	š	72 ふれあい塾運営事業						
4. 事業内	内容	学校施設を活用しながら、放課後の小学生の居場所づくり事業の充実を図り、児童の 健全育成を推進する。						
5. 事業都	番号(再掲含む)	72						
6. 現状と	-課題	ふれあい塾の行き帰りも含め、児童の安全管理を更に図る。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績値、	評価、今後の方向]性)					
	指標	参加児童数						
	指標の名称(単位)	数值						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	Д	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		
実績値	٨	0						
	達 成 率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	С						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持						
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い事業を中止としたため。						
8. 備	考	令和2年度担当記	果等∶保育∙青少年	丰課				
		基本目標(章)			_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)						

1. 基本目]標	4 子育てを支援	4 子育てを支援する生活環境の整備 担当課等名 学び推進					
2. 施策0	D基本的方向	3 子どもの遊び	場の確保					
3. 事業名	3	73 新•放課後日	子ども総合プラン技	推進事業				
4. 事業内	内容	児童クラブとふれあい塾を連携するため、教育委員会と町長部局とが緊密に連携・協力を図り、関係団体等を含めた体制の構築を図る。						
5. 事業都	番号(再掲含む)	73						
6. 現状と	∠ 課題	すべての児童を対象としていくための児童クラブとふれあい塾の連携した取り組みの実現に向け、「放課後子ども総合プラン運営委員会」を中心として、学習支援や体験活動などのプログラム、学校施設の積極的な活用等について協議し、総合的な放課後支援の充実を図ってきたが、町の財政状況を鑑み、今後検討していく。						
7. 年次記	十画(指標、計画値、実績値、	評価、今後の方向	1性)					
	指標	一体型児童クラフ	ブとふれあい塾開	設校区割合				
	指標の名称(単位)			数值				
	161赤の石が(千四)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	開設校区割合(%)	100	100	100	100	100		
実績値	開設校区割合(%)	100						
	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善		1:拡大						
	評価の理由	町内5小学校区(校地内)全てに児童クラブ及びふれあい塾を設置しているため。						
8. 備	考	令和2年度担当記	果等∶保育·青少 [≤]	丰課				
		基本目標(章)			_			
9. 総合言	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)						

1. 基本目	標	4 子育てを支援する生活環境の整備 担当課等名 都市計画課					
2. 施策0	の基本的方向	3 子どもの遊び場の確保					
3. 事業名	 B	75 公園整備等事業					
4. 事業内	内容	各施設の遊具の改良や、公園の整備を図る。					
5. 事業都	番号(再掲含む)	75					
6. 現状と	≟ 課題	財政状況が厳しい中で、公園利用者の声を反映した公園整備が必要となっている。また、各公園の遊具については、適切な維持管理を行いながら、各公園の事業に合わせた配置等を検討していく必要がある。					
7. 年次言	計画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	都市公園数					
	七悔の夕折(当片)			数值	<u> </u>		
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	箇所	42	42	42	42	42	
実績値	箇所	42					
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ì	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小	2:維持					
	評価の理由	遊具やベンチ等の公園施設の修繕等各公園の適正な維持管理に努めた。					
8. 備	考						
		基本目標(章)			_		
9. 総合言	計画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

1. 基本目	標	4 子育てを支援	する生活環境の	整備	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の	D基本的方向	3 子どもの遊び場の確保						
3. 事業名		76 児童遊び場の整備						
4. 事業巾	内容	子どもが安心して遊べるような児童遊び場の点検・整備を進める。						
5. 事業都	番号(再掲含む)	76						
6. 現状と課題		ている。また、遊	法的な位置づけのない「児童の遊び場」については、遊具の充実は困難な状況となっている。また、遊具が老朽化していることから、修繕や撤去等遊具のあり方について地権者・地域関係者と検討する必要がある。					
7. 年次記	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	安全基準による。	点検回数、目視等	等による点検回数				
	指標の名称(単位)			数值	直			
	指標の石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	基準:回	1	1	1	1	1		
#1 11111	目視:回	3	3	3	3	3		
実績値	基準:回	1						
	目視:回	3						
1	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延: : 未実施・廃止の方向	В						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	「向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持						
	評価の理由			ながら、遊具の安: ス、第六天神社境				
8. 備	考							
		基本目標(章)						
9. 総合訂	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)						

1. 基本目]標	4 子育てを支援	4 子育てを支援する生活環境の整備 担当課等名 学び推進課					
2. 施策の	の基本的方向	3 子どもの遊び	場の確保					
3. 事業名	3	77 広場等の整	備					
4. 事業内	内容	子どもが安心して遊べるような広場の整備・維持管理を進める。						
5. 事業者	番号(再掲含む)	77						
6. 現状と	現状と課題 子どもが安心して遊べるよう施設の維持管理を実施している。							
7. 年次記	計画(指標、計画値、実績値、	評価、今後の方向	1性)					
	指標	目視等による点点	美回数					
	指標の名称(単位)			数值				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	目視等による点検回数(回)	12	12	12	12	12		
実績値	目視等による点検回数(回)	12						
大順區		100.0		2.2				
	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価								
A	:目標達成・目標に向けて順調	Α						
В	:目標に向けて遅延							
C 今後の方	:未実施・廃止の方向 i向性							
1:拡大								
2:維持		2:維持						
3:改善	6:廃止							
		職員が青少年広場に行ったときに点検を実施。また、随時、委託業者による確認も行た。						
8. 備	考	令和2年度担当訂	課等∶保育∙青少 [⊊]	手課				
		基本目標(章)		-	_			
9. 総合言	計画2040での位置付け	政策(節)		-	_			
		施策(項)		-	_			

1. 基本目	標	5 要支援家庭へ	への取り組み		担当課等名	子育て支援課	
2. 施策の	の基本的方向	1 児童虐待の防止					
3. 事業名	<u> </u>	78 児童虐待防止のネットワーク事業					
4. 事業内	内容		児童虐待の早期発見、早期対応を目指し、関係機関との連携による児童虐待防止ネッ トワークを推進し、充実を図る。				
5. 事業都	番号(再掲含む)	78					
6. 現状と	∶ 課題	援に至るまでを関	関係団体で協議し L、虐待の早期発!	対策を行っている	。しかし、町が把	及び予防・自立支 握していないケー の協力体制を更に	
7. 年次言	計画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標		長者会議・実務者: ス検討会の開催回		ーム)の開催回数	Į.	
	指標の名称(単位)			数值	<u> </u>		
	指標の石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	定例会議(回)	13	13	13	13	13	
	塩時個別ケース会議(回	+	33	34	35	36	
宝結値	定例会議(回)	11					
2412412	塩時個別ケース会議(回	35					
ì	達 成 率(%)	84.6	0.0	100.0	0.0	0.0	
		109.4	0.0	100.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	ネットワーク会議の定期開催により、関係機関で密な連携をとることが可能になっている。また住民に近い視点で支援を行うことにより、虐待の予防、早期発見に努めている。					
8. 備	考	新型コロナウイルスの感染防止のため、4から5月の実務者会議及び援助活動チームは中止した。					
		基本目標(章)		-	_		
9. 総合言	計画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

						i		
1. 基本目	標	5 要支援家庭への取り組み 担当課等名 子育て支援課						
2. 施策の	D基本的方向	2 ひとり親家庭への支援						
3. 事業名		82 児童扶養手当						
4. 事業内	P容		18歳到達年度末までの児童(児童に障がいがある場合は20歳未満)を養育している ひとり親家庭等に手当を支給する。					
5. 事業都	番号(再掲含む)	82						
6. 現状と	-課題		実施主体は神奈川県。町は受給資格者から提出された書類の確認と、県との間で書 類の経由事務を行う。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の)方向性)					
	指標	受給資格者数(神奈川県所管事業のため、町の裁量による目標設定は不可)						
	七冊の夕折(当件)	数值						
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値								
実績値								
25	· · 成 率(%)							
	主							
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向							
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	向性 4:縮小 5:終了 6:廃止							
	評価の理由							
8. 備	考							
		基本目標(章)			_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_			
		施策(項)			_			

1. 基本目	標	5 要支援家庭への取り組み 担当課等名 子育て支援課					
2. 施策の	D基本的方向	2 ひとり親家庭への支援					
3. 事業名		83 ひとり親家庭等医療費助成事業					
4. 事業内容		ひとり親家庭等の人が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自 己負担額を助成する。(所得制限有り)					
5. 事業番	番号(再掲含む)	83					
6. 現状と課題			財政状況及び近隣他市町の動向を踏まえながら、一部負担金の導入について検討が必要(神奈川県補助事業。県は平成21年1月から一部負担金を導入)。				
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	助成対象者数					
	比価のなな(光は)			数值	Ī		
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	Д	900	900	900	900	900	
		252					
実績値	Д	852					
<u> </u>	 達 成 率(%)	94.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	向性 4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持					
	評価の理由	ひとり親家庭への医療費負担を軽減することで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援する事ができた。					
8. 備	考						
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)		-	_		
		施策(項)		-	_		

1. 基本目	標	5 要支援家庭への取り組み 担当課等名 子育て支援課					
2. 施策の	基本的方向	2 ひとり親家庭への支援					
3. 事業名		84 各種制度・講座等の情報提供					
4. 事業内	P容	ひとり親家庭、生活困難、養育困難な家庭向けの各種制度や講座等の情報提供を行 う。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	84					
6. 現状と	-課題	申請主義となっているため、対象者への周知徹底が重要となる。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	広報掲載回数 数 値					
	七冊のなむ(光仕)						
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	0	2	2	2	2	2	
		0					
実績値		2					
25	 達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C 今後の方	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	A					
1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了 6:廃止	2:維持					
	評価の理由	引き続き対象者への周知徹底を継続していく必要があり、広報のみでなく、町ホームページなどでも周知を図っていく。					
8. 備	考						
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)					

1. 基本目	標	5 要支援家庭へ	5 要支援家庭への取り組み 担当課等名 子育て支援課 神奈川県				
2. 施策の)基本的方向	2 ひとり親家庭・	への支援				
3. 事業名	i i	86 母子父子家庭支援相談会					
4. 事業内	9容	児童扶養手当現況届提出期間中に日程を設けて、県保健福祉事務所の相談員による 生活相談を開催する。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	86					
6. 現状と	-課題	貸付や進学の相	談が多く、県保健	福祉事務所の相	談につながってい	る。	
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	相談主訴への対応率					
	指標の名称(単位)			数值	_		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
	%	100					
実績値	70	100					
達 成 率(%)		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方							
1:拡大 2:維持 3:改善	5:終了	2∶維持					
	評価の理由	児童扶養手当現況届の際に県保健福祉事務所による生活相談を開催し、様々な不安 や悩みを抱えるひとり親家庭への支援を行った。					
8. 備	考						
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)		,	_		

1. 基本目	標	5 要支援家庭へ	5 要支援家庭への取り組み 担当課等名 福祉課				
2. 施策の	D基本的方向	3 障がい児施策	の充実				
3. 事業名	 3	87 重度障害者等医療費助成事業					
4. 事業内	内容	重度障がい者等の健康維持、福祉の増進を図るため、重度障がい者等の医療費の自 己負担額を助成し、本人や家族の経済的負担を軽減する。					
5. 事業都	番号(再掲含む)	87					
6. 現状と	-課題	対象者のほとんどが重度障害者であり、生命に係わる事業のため必要不可欠と考えるが、町の財政状況や他市町村の動向に注視していく。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
指標給付率(申請に対する給付率)							
	指標の名称(単位)			数值	1		
	161赤の石4か(千匹)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	100	
	%	100					
実績値	/0	100					
達 成 率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
評価							
A B C	:目標達成・目標に向けて順調:目標に向けて遅延:未実施・廃止の方向	A					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	向性 4:縮小	2:維持					
	評価の理由	令和2年度の対象 ているため。	象者は781人、助原	或件数は18,565件	で、全対象者に糸	合付することができ	
8. 備	考						
		基本目標(章)					
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

1. 基本目	標	5 要支援家庭^	の取り組み		担当課等名	福祉課 神奈川県	
2. 施策の)基本的方向	3 障がい児施策					
3. 事業名	í	88 障害児福祉手当					
4. 事業内	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	障がい児に手当を支給し、対象者の福祉の向上に寄与する。					
5. 事業番	琴号(再掲含む)	88					
6. 現状と	課題	町は、申請書受付事務に関する経由事務のみを行っている。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	受給者数(神奈)	川県所管事業のた	とめ、町の裁量に。	よる目標設定は不	可)	
	长馬の25·(光生)			数值	1		
	指標の名称(単位) 	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値							
実績値							
2412011							
ì	達 成 率(%)						
評価							
Α	:目標達成・目標に向けて順調						
В	:目標に向けて遅延						
С	:未実施・廃止の方向						
今後の方							
1:拡大							
2:維持							
3:改善	6:廃止						
	評価の理由						
8. 備	考						
		基本目標(章)			_		
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)			_		
		施策(項)			_		

1. 基本目	標	5 要支援家庭へ	の取り組み		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の)基本的方向	3 障がい児施策	の充実					
3. 事業名	1	89 特別児童扶	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
4. 事業内	N容		日常生活に著しい制限を受ける障がい状態にある児童を監護している父母、もしくは養育している養育者に対し手当を支給する。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	89						
6. 現状と	-課題	実施主体は神奈類の経由事務を		資格者から提出さ	れた書類の確認と	と、県との間で書		
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	神奈川県所管のため指標の設定なし						
	七冊の夕折(当片)			数值	1			
	指標の名称(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
社市店								
計画値								
中华法								
実績値								
<u>,</u>	± + ± (v)							
Į.	達 成 率(%)							
評価								
Α	:目標達成・目標に向けて順調							
В	:目標に向けて遅延							
С	:未実施・廃止の方向							
今後の方	向性							
1:拡大	4:縮小							
2:維持	5:終了							
3:改善	6:廃止							
	評価の理由							
8. 備	考							
		基本目標(章)		-	_			
9. 総合計	十画2040での位置付け	政策(節)		-	_			
		施策(項)			_			

1. 基本目	標	5 要支援家庭への取り組み		担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の)基本的方向	3 障がい児施策の充実					
3. 事業名		92 児童発達支援事業					
4. 事業内容		障がい児の日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う。 また、乳幼児の発達に関して療育相談を実施する。					
5. 事業番	番号(再掲含む)	92					
6. 現状と課題		ひまわり教室を継続するとともに、町の児童発達支援事業のあり方について今後検討 する必要がある。					
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	通園児童数					
	指標の名称(単位)			数值	1		
	担保の石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	人	20	20	20	20	20	
実績値	Д	24					
j	主 成 率(%)	120.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	発達に心配のある幼児のうち、利用希望する幼児の療育を行うことができた。また、不安を抱えた保護者への相談にも対応できた。					
8. 備	考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章) —					
		政策(節) —					
		施策(項)	_				

1. 基本目標		5 要支援家庭へ	5 要支援家庭への取り組み			学校教育課		
2. 施策の基本的方向		3 障がい児施策の充実						
3. 事業名		93 特別支援教育推進事業(小学校・中学校)						
4. 事業内容		特別支援学級に補助員を派遣するとともに、通常学級に在籍する児童の校外学習や遠足等の行事に介助員を派遣する。また、特別な支援を要する児童のために、町内全小学校に「ふれあい教育支援員」を配置し、学習支援を行う(小学校)。特別支援学級に補助員を派遣するとともに、通常学級に在籍する生徒の校外学習や遠足等の行事に介助員を派遣する(中学校)。						
5. 事業番号(再掲含む)		93						
6. 現状と課題		障がいは多様化、重度化している。支援員や補助員は増員を検討する。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	特別支援学級の担当者(補助員を含む)一人あたりが受け持つ児童・生徒数(人)						
	指標の名称(単位)			数	値			
	担保の石が(手位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
計画値	人	2	2	2	2	2		
実績値	Д	2						
25	┃ 達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
3:	主							
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	1:拡大						
	評価の理由	小・中学校の全校に、特別支援学級補助員を派遣した。 また、例年、学校からの要請により、通常学級に在籍する児童・生徒の校外学習や遠足等 の行事に介助員を派遣しているが、令和2年度はコロナのため、校外学習や遠足等はな く、介助員の派遣はなかった。 小学校においては、特別な支援を要する児童のために、町内全小学校に「ふれあい教育 支援員」を配置し、学習支援を行った。						
8. 備	考							
	計画2040での位置付け	基本目標(章)	_					
9. 総合計		政策(節)	_					
		施策(項)	_					

1. 基本目標		5 要支援家庭へ	援家庭への取り組み 担当課等名 学校教育課					
2. 施策の基本的方向		3 障がい児施策の充実						
3. 事業名		94 特別支援学級へのタブレット端末の配置						
4. 事業内容		特別な配慮を必要とする児童・生徒に対し、個のニーズに応じた学習の充実を図るため、未設置の学校に順次、タブレット端末を配置する。						
5. 事業番号(再掲含む)		94						
6. 現状と課題		GIGAスクール構想に伴い、R3年3月までに町内8校すべてに、一人一台の端末が導入された。						
7. 年次計	十画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)					
	指標	タブレット端末の配置率=タブレット端末配置数/担当者数(支援員を含む)						
	指標の名称(単位)				値			
		令和2年度	令和3年度	<u> </u>	令和5年度	令和6年度		
計画値	%	100	100	100	100	100		
実績値	%	100						
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ì	達 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А						
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	5:終了						
	評価の理由	GIGAスクール構	GAスクール構想により、児童・生徒に一人一台のタブレットが導入されたため。					
8. 備	考							
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	_					
		政策(節)	_					
		施策(項)	_					

1. 基本目	標	5 要支援家庭への取り組み 担当課等名 学校教育課					
2. 施策の基本的方向		3 障がい児施策の充実					
3. 事業名		95 インクルーシブ教育の推進					
4. 事業内容		障がいのあるなしにかかわらず、すべての児童・生徒が共に学び共に育つ学習機会の充実を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)		95					
6. 現状と課題		特別支援学級を全校に設置し、支援を要する児童・生徒に対する個に応じた支援・学習の充実を図ってきた。今後は、インクルーシブの観点を取り入れながら、すべての児童・生徒が共に学ぶ学習活動を充実していくことが必要である。					
7. 年次計	┣画(指標、計画値、実績	値、評価、今後の	方向性)				
	指標	特別支援学級在籍児童・生徒や支援を要する児童・生徒も含めた、共に学ぶ学習活動の 実施校数					
	指標の名称(単位)			数	値		
	11ほの石が(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	校	8	8	8	8	8	
実績値	校	8					
大順胆							
道	権 成 率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価 A B C	:目標達成・目標に向けて順調 :目標に向けて遅延 :未実施・廃止の方向	А					
今後の方 1:拡大 2:維持 3:改善	4:縮小 5:終了	2:維持					
	評価の理由	町内小・中学校8校全でに特別支援学級を配置しており、各校にて児童・生徒の教育的ニーズに丁寧に対応している。また、通常学級に在籍し、支援を要する児童・生徒も共に学習ができるように、ふれあい支援員等を活用した。					
8. 備	考						
		基本目標(章)	_				
9. 総合計画2040での位置付け		政策(節)	(節) —				
		施策(項) —					